

令和4年度

和歌山県精神科在院患者調査  
報告書

～誰もが住み慣れた街で安心して暮らすために～

和歌山県

## はじめに

平成 16 年 9 月、国が「精神保健医療福祉の改革ビジョン」を発表し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本方針が示されました。国民各層の意識の変革や、立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を進め、「受け入れ条件を整えば退院可能な者」とされた約 7 万人の入院患者を 10 年で解消するとされましたが、その目的は達成されず、現在も取組は続いています。

和歌山県では、長期入院精神障害者の地域移行を進めるための施策として、平成 16 年度から精神障害者退院促進事業を実施し、同事業は平成 21 年度には精神障害者地域移行支援特別対策事業となりました。さらに、平成 23 年度からピアサポーター活用事業を始め、ピアサポーターの養成や、精神科病院で行われる院内茶話会等でピアサポーターと入院患者が交流できるように体制を構築しました。平成 25 年度からは、地域移行に携わる人材の育成を目的とし、地域移行推進研修を毎年実施している他、長期入院患者の退院意欲の喚起を目的として、平成 27 年度から長期入院精神障害者等地域移行促進事業を実施しています。平成 28 年度には、県内全ての障害保健福祉圏域自立支援協議会に精神障害専門部会が設立され、長期入院精神障害者の地域移行を検討する土台が出来上がりました。

こうした中、平成 29 年 2 月、国の「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書の中で、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の理念が示されました。その後、和歌山県でも第 6 期和歌山県障害福祉計画において同システム構築に向けた様々な成果目標を定め、各障害保健福祉圏域の協議の場において取組を進めています。

本調査は、国が行う精神保健福祉資料調査（630 調査）を基礎として、各自治体における精神保健福祉施策の立案や、協議の場において「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を具体的に検討するための基礎資料を得ることを目的とし、大阪府で実施されていた先行調査を参考に、令和 4 年度に初めて実施したものです。各関係機関のみなさまにおかれましても本調査の結果をお役立ていただければ幸いです。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず、本調査にご協力いただきました県内精神科病院のみなさまと、本調査の構築にあたりご助言頂きました大阪府ご担当者様に厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 3 月

和歌山県 精神保健福祉センター

# 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>3</b>
1. 調査の目的 .....	3
2. 調査の方法 .....	3
3. 和歌山県内の精神科病院の状況（病床数等） .....	3
4. 調査の内容 .....	3
<b>第2章 全体の概要（単純集計）</b> .....	<b>4</b>
1. 年代別入院患者数 .....	4
2. 入院形態 .....	4
3. 主診断名 .....	5
4. 入院期間 .....	6
5. 病状 .....	6
6. 退院希望 .....	7
7. 状態像 .....	7
8. 退院阻害要因の有無 .....	7
9. 退院阻害要因 .....	8
10. 退院後に必要なサービス .....	10
11. 市町村、圏域別入院患者数 .....	12
<b>第3章 入院期間1年以上の入院患者の状況</b> .....	<b>13</b>
1. 年代別入院患者数 .....	13
2. 入院形態 .....	13
3. 主診断名 .....	14
4. 入院期間 .....	15
5. 病状 .....	15
6. 退院希望 .....	16
7. 状態像 .....	16
8. 退院阻害要因の有無 .....	16
9. 退院阻害要因 .....	17
10. 退院後に必要なサービス .....	19
11. 市町村、圏域別入院患者数 .....	21
<b>第4章 65歳以上の入院患者の状況</b> .....	<b>22</b>
1. 年代別人数 .....	22

2. 入院形態 .....	22
3. 主診断名 .....	23
4. 入院期間 .....	24
5. 病状 .....	24
6. 退院希望 .....	25
7. 状態像 .....	25
8. 退院阻害要因の有無 .....	25
9. 退院阻害要因 .....	26
10. 退院後に必要なサービス .....	28
11. 市町村、圏域別入院患者数 .....	30
<b>第5章 クロス集計 .....</b>	<b>31</b>
1. 退院阻害要因 .....	31
①65歳未満・以上別 .....	31
②退院希望の有無別 .....	34
③入院期間別 .....	37
2. 退院後に必要なサービス .....	40
①65歳未満・以上別 .....	40
②退院希望の有無別 .....	42
③入院期間別 .....	44
3. 障害保健福祉圏域別 .....	46
<b>第6章 まとめ .....</b>	<b>52</b>

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、和歌山県内の精神科病院に入院している精神障害者等の状況を明らかにし、地域移行の促進、および、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進するための基礎資料を得ることを目的とした。

### 2. 調査の方法

調査の対象は、令和4年6月30日時点で入院しているすべての患者を対象とし、県内の精神科病床を有する医療機関に対し調査票を送付、従事者から回答を得た。なお、調査票回収率は100%であった。

### 3. 和歌山県内の精神科病院の状況（病床数等）

圏域名	病院数 (精神病床を 持つ総合病院 含む)	病床数 (精神科許可病 床数)	休床数	稼働病床数
和歌山	4	669	0	669
伊都	1	120	0	120
那賀	1	218	0	218
海草	1	100	0	100
有田	1	300	52	248
日高	1	100	0	100
西牟婁	1	198	54	144
東牟婁	2	335	37	298
<b>合計</b>	<b>12</b>	<b>2040</b>	<b>143</b>	<b>1897</b>

### 4. 調査の内容

調査内容は、別添調査票のとおり。

基礎項目は、厚生労働省が実施する「精神保健福祉資料（令和4年6月30日現在）」の調査項目とし、本県独自に調査項目を追加して行った。

## 第2章 全体の概要（単純集計）

本章では、全患者について単純集計を行った。各項目において、病状区分が「寛解」、「院内寛解」、「軽度」の群（以下、軽度群という）については内訳を集計した。

なお、割合については特に注意書きが無い場合、全数内での割合を示している。

### 1. 年代別入院患者数

65歳～74歳が最も多く、入院患者全体の29.1%（431人）となった。次いで、75歳以上が27.6%（408人）、50歳代が15.9%（236人）と続いている。65歳以上の高齢者については、全入院患者の56.7%（839人）を占め、入院患者の高齢化が進んでいる。

また、病状が寛解、院内寛解、軽度の患者（以下、軽度群という）については、75歳以上の入院患者が28.3%（114人）と最も多く、次いで65歳～74歳の入院患者が27.3%（110人）と続いている。

表Ⅱ-1 入院患者の年代別人数（単純集計）

	人数	割合	病状区分				
			寛解	院内寛解	軽度	軽度群合計	軽度群割合
10歳未満	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
10歳代	10	0.7%	1	4	2	7	70.0%
20歳代	32	2.2%	1	6	5	12	37.5%
30歳代	64	4.3%	3	12	12	27	42.2%
40歳代	136	9.2%	1	17	18	36	26.5%
50歳代	236	15.9%	2	18	34	54	22.9%
60歳～64歳	163	11.0%	2	12	29	43	26.4%
<b>65歳以下小計</b>	<b>641</b>	<b>43.3%</b>	<b>10</b>	<b>69</b>	<b>100</b>	<b>179</b>	<b>27.9%</b>
65歳～74歳	431	29.1%	4	35	71	110	25.5%
75歳以上	408	27.6%	2	35	77	114	27.9%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>65歳以上小計</b>	<b>839</b>	<b>56.7%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	<b>26.7%</b>
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	

★割合は同一年代区分で軽度群が占める割合を示す

### 2. 入院形態

「任意入院」が52.6%（779人）と最も多い。任意入院の内、軽度群が占める割合は32.3%（252人）で、医療保護入院でも21.6%（151人）となっている。

表Ⅱ-2 入院形態

	人数	割合	病状区分				
			寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
任意入院	779	52.6%	13	85	154	252	32.3%
医療保護入院	699	47.2%	3	54	94	151	21.6%
措置入院	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
緊急措置入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
応急入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
鑑定入院	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
医療観察法による入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	

★割合は同一入院形態区分で軽度群が占める割合を示す

### 3. 主診断名

「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 73.5% (1,088 人) と最も多く、次いで「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」が 5.6% (83 人)、「F00 アルツハイマー病型認知症」が 4.8% (71 人) と続く。最も多い「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の内、261 人 (24.0%) が軽度群と診断されている。また、次いで多い「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」では 14 人 (16.9%) が、「F00 アルツハイマー病型認知症」では 23 人 (32.4%) が軽度群と診断されている。

表Ⅱ-3 主診断名

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
F00アルツハイマー病型認知症	71	4.8%	1	4	18	23	32.4%
F01血管性認知症	3	0.2%	0	1	0	1	33.3%
F02-09上記以外の症状性を含む器質性精神障害	83	5.6%	0	3	11	14	16.9%
F10アルコール使用による精神及び行動の障害	24	1.6%	2	8	6	16	66.7%
覚せい剤による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F2統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1088	73.5%	3	91	167	261	24.0%
F30-31 躁病エピソード・双極性感情障害 [躁うつ病]	59	4.0%	3	13	14	30	50.8%
F32-39 その他の気分障害	64	4.3%	5	6	12	23	35.9%
F4神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障	33	2.2%	1	0	10	11	33.3%
F5生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	3	0.2%	0	0	1	1	33.3%
F6成人のパーソナリティ及び行動の障害	4	0.3%	0	1	1	2	50.0%
F7精神遅滞(知的障害)	23	1.6%	0	5	5	10	43.5%
F8心理的発達の障害	11	0.7%	0	2	0	2	18.2%
F9小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の	8	0.5%	1	4	2	7	87.5%
てんかん (F0に属さないものを計上する)	4	0.3%	0	1	0	1	25.0%
その他	2	0.1%	0	0	1	1	50.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	

★割合は同一疾患区分で軽度群が占める割合を示す

#### 4. 入院期間

「3か月未満」が22.2%（329人）と最も多く、次いで「5年～10年未満」が16.0%（237人）、「1年～3年未満」が14.8%（219人）と続いている。1年以上の長期入院は全体の66.7%（987人）に上り、軽度群の内でも53.6%（216人）が長期入院となっている。

	年齢別				病状別				
	65歳未満	65歳以上	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
3か月未満	184	145	329	22.2%	13	50	76	139	42.2%
3～6か月未満	34	42	76	5.1%	1	13	12	26	34.2%
6か月～1年未満	38	50	88	5.9%	0	7	15	22	25.0%
<b>1年未満小計</b>	<b>256</b>	<b>237</b>	<b>493</b>	<b>33.3%</b>	<b>14</b>	<b>70</b>	<b>103</b>	<b>187</b>	<b>37.9%</b>
1年～3年未満	102	117	219	14.8%	1	12	32	45	20.5%
3年～5年未満	72	102	174	11.8%	0	15	18	33	19.0%
5年～10年未満	102	135	237	16.0%	1	12	35	48	20.3%
10年～15年未満	44	69	113	7.6%	0	10	15	25	22.1%
15年～20年未満	31	34	65	4.4%	0	5	8	13	20.0%
20年以上	34	145	179	12.1%	0	15	37	52	29.1%
<b>1年以上小計</b>	<b>385</b>	<b>602</b>	<b>987</b>	<b>66.7%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	<b>21.9%</b>
<b>合計</b>	<b>641</b>	<b>839</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	

★割合は同一入院期間区分で軽度群が占める割合を示す

#### 5. 病状

中等度が46.1%（682人）と最も多く、次いで「重度」が22.9%（339人）、「軽度」が16.8%（248人）と続く。全体の内、病状が「中等度」、「重度」、「最重度」の群（以下、重度群という）は72.8%（1,077人）、軽度群は27.2%（403人）となっている。

	合計	割合
寛解	16	1.1%
院内寛解	139	9.4%
軽度	248	16.8%
<b>軽度群小計</b>	<b>403</b>	<b>27.2%</b>
中等度	682	46.1%
重度	339	22.9%
最重度	56	3.8%
<b>重度群小計</b>	<b>1077</b>	<b>72.8%</b>
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>

## 6. 退院希望

退院の希望については、「不明」が44.7% (661人)と最も多く、次いで「希望している」が36.4% (539人)、「希望していない」が18.9% (280人)となっている。軽度群では、「希望している」が最も多く48.9% (197人)、次いで「不明」が32.3% (130人)、「希望していない」が18.9% (76人)と続いている。

表Ⅱ-6 退院希望

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
希望している	539	36.4%	12	82	103	197	48.9%
希望していない	280	18.9%	1	29	46	76	18.9%
不明	661	44.7%	3	28	99	130	32.3%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	<b>100.0%</b>

## 7. 状態像

「病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要」が71.4% (1,057人)と最も多く、次いで「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が16.9% (250人)、「退院予定」が11.7% (173人)と続く。軽度群では、「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が43.2% (174人)と最も多く、次いで「病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要」が32.5% (131人)、「退院予定」が24.3% (98人)と続く。

表Ⅱ-7 状態像

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	250	16.9%	3	76	95	174	43.2%
病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要	1057	71.4%	0	20	111	131	32.5%
退院予定	173	11.7%	13	43	42	98	24.3%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>100.0%</b>	<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	<b>100.0%</b>

## 8. 退院阻害要因の有無

7. 状態像で「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された者について、退院阻害要因の有無を調べた。ほぼ全数の96.4% (241人)に「退院阻害要因がある」とされ、その内69.3% (167人)が軽度群であった。

表Ⅱ-8 退院阻害要因の有無

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
退院阻害要因がある	241	96.4%	2	73	92	167	69.3%
退院阻害要因はない	9	3.6%	1	3	3	7	77.8%
<b>合計</b>	<b>250</b>	<b>100.0%</b>	<b>3</b>	<b>76</b>	<b>95</b>	<b>174</b>	

★割合は同一区内で軽度群が占める割合を示す

## 9. 退院阻害要因

8. 退院阻害要因の有無で、「退院阻害要因がある」が選択された患者について、最も考えられる退院阻害要因を第1位とし、第3位まで調べた。「現実認識が乏しい」が12.7% (79人)と最も多く、次いで「退院による環境変化への不安」が12.4% (77人)、「退院意欲が乏しい」が11.3% (70人)と続く。軽度群では「退院による環境変化への不安」が13.8% (60人)と最も多く、次いで「退院意欲が乏しい」が12.0% (52人)、「受け入れ施設が確保できない」が11.8% (51人)と続く。

表Ⅱ-9 退院阻害要因（単純集計）

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状が改善しない	22	3.5%	0	4	11	15	3.5%
病識なく服薬中断リスク大	55	8.9%	0	8	21	29	6.7%
迷惑行為がある	15	2.4%	0	4	7	11	2.5%
反社会的行動が予測される	3	0.5%	0	0	2	2	0.5%
退院意欲が乏しい	70	11.3%	1	21	30	52	12.0%
現実認識が乏しい	79	12.7%	0	8	34	42	9.7%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	32	5.2%	0	11	14	25	5.8%
退院による環境変化への不安	77	12.4%	1	29	30	60	13.8%
援助者との関係構築	15	2.4%	0	8	6	14	3.2%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	21	3.4%	0	10	3	13	3.0%
家族がいない	24	3.9%	0	8	8	16	3.7%
サポート体制が構築できない	28	4.5%	0	13	9	22	5.1%
家族が退院に反対している	39	6.3%	0	13	13	26	6.0%
家族以外の者が退院に反対している	8	1.3%	0	4	2	6	1.4%
住まいの確保ができない	46	7.4%	0	21	15	36	8.3%
受け入れ施設が確保できない	68	11.0%	0	23	28	51	11.8%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
退院サポート人材の不足	6	1.0%	0	2	2	4	0.9%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	4	0.6%	1	1	1	3	0.7%
その他の退院阻害要因がある	8	1.3%	1	4	2	7	1.6%
<b>合計</b>	<b>620</b>	<b>100.0%</b>	<b>4</b>	<b>192</b>	<b>238</b>	<b>434</b>	<b>100.0%</b>

★複数回答（最も大きな要因を第1位とし、最大第3位まで選択）

第1位として選択された退院阻害要因を見ると、「退院意欲が乏しい」が21.2%（51人）と最も多く、次いで「病識なく服薬中断リスク大」が14.9%（36人）、「受け入れ施設が確保できない」が10.8%（26人）と続く。

表Ⅱ-10 退院阻害要因（選択順位別件数）

	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数		合計	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
病状が改善しない	15	6.2%	6	2.8%	1	0.6%	22	3.5%
病識なく服薬中断リスク大	36	14.9%	13	6.0%	6	3.7%	55	8.9%
迷惑行為がある	7	2.9%	6	2.8%	2	1.2%	15	2.4%
反社会的行動が予測される	1	0.4%	2	0.9%	0	0.0%	3	0.5%
退院意欲が乏しい	51	21.2%	14	6.5%	5	3.1%	70	11.3%
現実認識が乏しい	24	10.0%	34	15.7%	21	12.9%	79	12.7%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	8	3.3%	14	6.5%	10	6.1%	32	5.2%
退院による環境変化への不安	23	9.5%	33	15.3%	21	12.9%	77	12.4%
援助者との関係構築	2	0.8%	6	2.8%	7	4.3%	15	2.4%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	0.4%	8	3.7%	12	7.4%	21	3.4%
家族がいない	6	2.5%	4	1.9%	14	8.6%	24	3.9%
サポート体制が構築できない	3	1.2%	9	4.2%	16	9.8%	28	4.5%
家族が退院に反対している	11	4.6%	13	6.0%	15	9.2%	39	6.3%
家族以外の者が退院に反対している	4	1.7%	3	1.4%	1	0.6%	8	1.3%
住まいの確保ができない	18	7.5%	20	9.3%	8	4.9%	46	7.4%
受け入れ施設が確保できない	26	10.8%	25	11.6%	17	10.4%	68	11.0%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	2	0.8%	1	0.5%	3	1.8%	6	1.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	2	0.9%	2	1.2%	4	0.6%
その他の退院阻害要因がある	3	1.2%	3	1.4%	2	1.2%	8	1.3%
<b>合計</b>	<b>241</b>	<b>100.0%</b>	<b>216</b>	<b>100.0%</b>	<b>163</b>	<b>100.0%</b>	<b>620</b>	<b>100.0%</b>

## 10. 退院後に必要なサービス

全患者について、退院後に必要となるサービスについて、最も必要になるものを第1位とし、第3位まで調べた。「訪問看護」が15.6% (483人)と最も多く、次いで「施設入所支援(障害)」が9.8% (301人)、「共同生活援助(グループホーム)」が9.3% (286人)と続く。軽度群では、「訪問看護」が18.7% (154人)と最も多く、次いで「共同生活援助(グループホーム)」が9.4% (77人)、「サービス付き高齢者向け住宅」が9.0% (74人)と続く。

表Ⅱ-11 退院後に必要なサービス(単純集計)

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	115	3.7%	3	24	15	42	5.1%
重度訪問介護	2	0.1%	0	1	0	1	0.1%
短期入所(ショートステイ)	45	1.5%	0	2	4	6	0.7%
行動援護	4	0.1%	0	1	0	1	0.1%
同行援護	3	0.1%	0	0	3	3	0.4%
療養介護	3	0.1%	0	0	1	1	0.1%
生活介護	39	1.3%	0	4	2	6	0.7%
共同生活援助(グループホーム)	286	9.3%	1	20	56	77	9.4%
施設入所支援(障害)	301	9.8%	0	8	33	41	5.0%
特別養護老人ホーム	271	8.8%	0	14	29	43	5.2%
養護老人ホーム	188	6.1%	1	9	37	47	5.7%
老人保健施設	238	7.7%	1	9	44	54	6.6%
サービス付き高齢者向け住宅	240	7.8%	2	20	52	74	9.0%
認知症対応型グループホーム	63	2.0%	0	2	7	9	1.1%
自立訓練(機能訓練)	10	0.3%	0	0	3	3	0.4%
自立訓練(生活訓練)	53	1.7%	0	7	9	16	1.9%
宿泊型自立訓練	9	0.3%	0	0	2	2	0.2%
就労移行支援	10	0.3%	0	3	2	5	0.6%
就労継続支援A型(雇用型)	9	0.3%	1	2	2	5	0.6%
就労継続支援B型(非雇用型)	37	1.2%	0	7	11	18	2.2%
精神科デイケア	228	7.4%	2	39	31	72	8.8%
デイサービス(介護保険)	93	3.0%	1	14	9	24	2.9%
その他介護保険のサービス	13	0.4%	0	1	2	3	0.4%
地域定着支援	71	2.3%	1	5	13	19	2.3%
訪問看護	483	15.6%	10	72	72	154	18.7%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	23	0.7%	1	5	4	10	1.2%
家族への支援(心理教育等)	48	1.6%	3	14	10	27	3.3%
ピアサポート等自助活動	5	0.2%	1	0	1	2	0.2%
民間賃貸住宅の確保支援	5	0.2%	0	0	3	3	0.4%
地域活動支援センター	32	1.0%	1	5	7	13	1.6%
余暇活動支援	18	0.6%	0	8	6	14	1.7%
その他	142	4.6%	0	12	15	27	3.3%
<b>合計</b>	<b>3087</b>	<b>100.0%</b>	<b>29</b>	<b>308</b>	<b>485</b>	<b>822</b>	<b>100.0%</b>

★複数回答(最も必要と考えられるものを第1位とし、最大第3位まで選択)

退院後に必要なサービス第1位として選択されたサービスでは、「施設入所支援」が17.7% (260人)と最も多く、次いで「共同生活援助(グループホーム)」が14.9%(218人)、「特別養護老人ホーム」が13.5%(198人)と続く。退院後の居住先として居住系サービスが重要視されている。

表Ⅱ-12 退院後に必要なサービス(選択順位別件数)

	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	40	2.7%	51	5.6%	24	3.4%
重度訪問介護	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所(ショートステイ)	10	0.7%	23	2.5%	12	1.7%
行動援護	1	0.1%	2	0.2%	1	0.1%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
生活介護	6	0.4%	22	2.4%	11	1.5%
共同生活援助(グループホーム)	218	14.9%	52	5.7%	16	2.2%
施設入所支援(障害)	260	17.7%	24	2.6%	17	2.4%
特別養護老人ホーム	198	13.5%	49	5.4%	24	3.4%
養護老人ホーム	81	5.5%	73	8.1%	34	4.7%
老人保健施設	116	7.9%	94	10.4%	28	3.9%
サービス付き高齢者向け住宅	137	9.4%	62	6.8%	41	5.7%
認知症対応型グループホーム	22	1.5%	35	3.9%	6	0.8%
自立訓練(機能訓練)	1	0.1%	4	0.4%	5	0.7%
自立訓練(生活訓練)	19	1.3%	20	2.2%	14	2.0%
宿泊型自立訓練	6	0.4%	1	0.1%	2	0.3%
就労移行支援	3	0.2%	2	0.2%	5	0.7%
就労継続支援A型(雇用型)	4	0.3%	1	0.1%	4	0.6%
就労継続支援B型(非雇用型)	15	1.0%	12	1.3%	10	1.4%
精神科デイケア	51	3.5%	87	9.6%	90	12.6%
デイサービス(介護保険)	8	0.5%	16	1.8%	69	9.6%
その他介護保険のサービス	6	0.4%	3	0.3%	4	0.6%
地域定着支援	14	1.0%	32	3.5%	25	3.5%
訪問看護	139	9.5%	188	20.8%	156	21.8%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	3	0.2%	10	1.1%	10	1.4%
家族への支援(心理教育等)	12	0.8%	14	1.5%	22	3.1%
ピアサポート等自助活動	1	0.1%	4	0.4%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	3	0.2%	2	0.2%	0	0.0%
地域活動支援センター	5	0.3%	15	1.7%	12	1.7%
余暇活動支援	1	0.1%	4	0.4%	13	1.8%
その他	83	5.7%	4	0.4%	55	7.7%
<b>合計</b>	<b>1465</b>	<b>100.0%</b>	<b>906</b>	<b>100.0%</b>	<b>716</b>	<b>100.0%</b>

1 1. 市町村、圏域別入院患者数

表Ⅱ-13 市町村別入院患者数

	入院患者数	人口数	1万対		寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	529	352,399	15.0		7	43	75	125	23.6%
海南市	97	48,236	20.1		2	13	21	36	37.1%
橋本市	69	60,571	11.4		0	0	7	7	10.1%
有田市	40	26,408	15.1		2	7	4	13	32.5%
御坊市	55	22,219	24.8		0	8	28	36	65.5%
田辺市	83	70,198	11.8		0	17	18	35	42.2%
新宮市	61	27,807	21.9		0	4	10	14	23.0%
紀の川市	100	60,175	16.6		1	4	9	14	14.0%
岩出市	60	54,203	11.1		1	0	5	6	10.0%
紀美野町	32	8,207	39.0		0	6	9	15	46.9%
かつらぎ町	30	16,018	18.7		0	0	2	2	6.7%
九度山町	11	3,897	28.2		0	0	0	0	0.0%
高野町	5	2,723	18.4		0	0	0	0	0.0%
湯浅町	13	11,512	11.3		0	1	4	5	38.5%
広川町	7	6,701	10.4		0	0	4	4	57.1%
有田川町	31	25,738	12.0		1	3	3	7	22.6%
美浜町	2	6,681	3.0		0	1	0	1	50.0%
日高町	4	7,937	5.0		1	0	0	1	25.0%
由良町	2	5,345	3.7		0	0	0	0	0.0%
印南町	5	7,959	6.3		0	0	1	1	20.0%
みなべ町	5	12,061	4.1		0	2	1	3	60.0%
日高川町	9	9,440	9.5		0	1	1	2	22.2%
白浜町	26	20,572	12.6		0	6	2	8	30.8%
上富田町	11	15,696	7.0		0	2	1	3	27.3%
すさみ町	8	3,688	21.7		0	2	2	4	50.0%
那智勝浦町	54	14,220	38.0		0	5	13	18	33.3%
太地町	8	2,907	27.5		0	2	3	5	62.5%
古座川町	10	2,474	40.4		0	1	3	4	40.0%
北山村	0	410	0.0		0	0	0	0	0.0%
串本町	68	14,889	45.7		0	10	14	24	35.3%
県外	42				1	1	7	9	21.4%
不明	3				0	0	1	1	33.3%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>921,291</b>	<b>16.1</b>		<b>16</b>	<b>139</b>	<b>248</b>	<b>403</b>	

★人口数は令和4年6月30日時点の住民基本台帳に基づく人口を示す

★割合は同一市町村で軽度群が占める割合を示す

表Ⅱ-14 圏域別入院患者数

	人数	人口数	1万対病床数	1万対患者数		寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	529	352,399	19.0	15.0		7	43	75	125	23.6%
伊都	115	83,209	14.4	13.8		0	0	9	9	7.8%
那賀	160	114,378	19.1	14.0		2	4	14	20	12.5%
海草	129	56,443	17.7	22.9		2	19	30	51	39.5%
有田	91	70,359	35.2	12.9		3	11	15	29	31.9%
日高	77	59,581	16.8	12.9		1	10	30	41	53.2%
西牟婁	133	122,215	11.8	10.9		0	29	24	53	39.8%
東牟婁	201	62,707	47.5	32.1		0	22	43	65	32.3%
県外	42					1	1	7	9	21.4%
不明	3					0	0	1	1	33.3%
<b>合計</b>	<b>1480</b>	<b>921,291</b>	<b>20.6</b>	<b>16.1</b>		<b>16</b>	<b>139</b>	<b>247</b>	<b>403</b>	<b>27.2%</b>

★1万対病床数=(圏域内稼働病床数/圏域人口数)×10,000

★割合は同一圏域で軽度群が占める割合を示す

### 第3章 入院期間1年以上の入院患者の状況

本章では、入院期間が1年以上の入院患者の状況について単純集計を行った。

#### 1. 年代別入院患者数

「65～74歳」が35.2%（347人）と最も多く、次いで「75歳以上」が25.8%（255人）、「50歳代」が16.7%（165人）と続く。軽度群では、「65～74歳」が38.4%（83人）と最も多く、次いで「75歳以上」が31.5%（68人）、「60～64歳」が13.0%（28人）と続いている。

表Ⅲ-1 入院患者の年代別人数（入院期間1年以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	軽度群合計	軽度群割合
10歳未満	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
10歳代	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
20歳代	6	0.6%	0	1	1	2	0.9%
30歳代	14	1.4%	0	1	1	2	0.9%
40歳代	77	7.8%	1	3	5	9	4.2%
50歳代	165	16.7%	0	7	17	24	11.1%
60歳～64歳	123	12.5%	0	7	21	28	13.0%
65歳～74歳	347	35.2%	1	26	56	83	38.4%
75歳以上	255	25.8%	0	24	44	68	31.5%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一年代区分で軽度群が占める割合を示す

#### 2. 入院形態

任意入院が58.7%（579人）と最も多い。任意入院の内、軽度群が占める割合は26.9%（156人）であり、医療保護入院についても14.7%（60人）となっている。

表Ⅲ-2 入院形態（入院期間1年以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
任意入院	579	58.7%	2	50	104	156	26.9%
医療保護入院	408	41.3%	0	19	41	60	14.7%
措置入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
緊急措置入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
応急入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
鑑定入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
医療観察法による入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一入院形態で軽度群が占める割合を示す

### 3. 主診断名

「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が 86.2% (851 人) と最も多く、次いで「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」が 3.6% (36 人)、「F30 - 31 躁病エピソード・双極性感情障害 [躁うつ病]」が 2.2% (22 人) と続く。「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」内で軽度群が占める割合は 20.7% (176 人) で、「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」では 11.1% (4 人)、「F30 - 31 躁病エピソード・双極性感情障害 [躁うつ病]」では 45.5% (10 人) であった。

表Ⅲ-3 主診断名 (入院期間1年以上)

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
F00アルツハイマー病型認知症	17	1.7%	0	1	4	5	29.4%
F01血管性認知症	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F02-09上記以外の症状性を含む器質性精神障害	36	3.6%	0	1	3	4	11.1%
F10アルコール使用による精神及び行動の障害	6	0.6%	0	0	4	4	66.7%
覚せい剤による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F2統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	851	86.2%	2	57	117	176	20.7%
F30-31 躁病エピソード・双極性感情障害 [躁うつ病]	22	2.2%	0	5	5	10	45.5%
F32-39 その他の気分障害	19	1.9%	0	2	3	5	26.3%
F4神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障	16	1.6%	0	0	6	6	37.5%
F5生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F6成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
F7精神遅滞(知的障害)	14	1.4%	0	2	3	5	35.7%
F8心理的発達の障害	3	0.3%	0	0	0	0	0.0%
F9小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の	1	0.1%	0	1	0	1	100.0%
てんかん (F0に属さないものを計上する)	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一疾患区分内で軽度群が占める割合を示す

#### 4. 入院期間

「5年～10年未満」が24.0% (237人) と最も多く、次いで「1年～3年未満」が22.2% (219人)、「20年以上」が18.1% (179人) と続く。軽度群が占める割合が最も多いのは「20年以上」で29.1% (52人)、「10年～15年未満」が22.1% (25人)、「1年～3年未満」が20.5% (45人) となっている。

表Ⅲ-4 入院期間（入院期間1年以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
1年～3年未満	219	22.2%	1	12	32	45	20.5%
3年～5年未満	174	17.6%	0	15	18	33	19.0%
5年～10年未満	237	24.0%	1	12	35	48	20.3%
10年～15年未満	113	11.4%	0	10	15	25	22.1%
15年～20年未満	65	6.6%	0	5	8	13	20.0%
20年以上	179	18.1%	0	15	37	52	29.1%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一入院期間内で軽度群が占める割合を示す

#### 5. 病状

「中等度」が51.1% (504人) と最も多く、次いで「重度」が23.6% (233人)、「軽度」が14.7% (145人) と続く。軽度群が占める割合は21.9% (216人) であった。

表Ⅲ-5 病状（入院期間1年以上）

	合計	割合
寛解	2	0.2%
院内寛解	69	7.0%
軽度	145	14.7%
<b>軽度群小計</b>	<b>216</b>	<b>21.9%</b>
中等度	504	51.1%
重度	233	23.6%
最重度	34	3.4%
<b>重度群小計</b>	<b>771</b>	<b>78.1%</b>
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>

## 6. 退院希望

「不明」が49.8% (492人) と最も多く、次いで「希望している」が27.1% (267人)、「希望していない」が23.1% (228人) と続く。軽度群が占める割合が最も多いのは「希望していない」で28.9% (66人)、「希望している」が21.0% (56人)、「不明」が19.1% (94人) となっている。

表Ⅲ-6 退院希望（入院期間1年以上）

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
希望している	267	27.1%	1	18	37	56	21.0%
希望していない	228	23.1%	1	24	41	66	28.9%
不明	492	49.8%	0	27	67	94	19.1%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一退院希望内で軽度群が占める割合を示す

## 7. 状態像

「病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要」が76.8% (758人) と最も多く、次いで「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が18.1% (179人)、「退院予定」が5.1% (50人) と続く。軽度群が占める割合が最も高いのは「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」で71.5% (128人)、次いで「退院予定」が22.0% (11人)、「病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要」が10.2% (128人) と続く。

表Ⅲ-7 状態像（入院期間1年以上）

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	179	18.1%	2	55	71	128	71.5%
病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要	758	76.8%	0	5	72	77	10.2%
退院予定	50	5.1%	0	9	2	11	22.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一状態像区分内で軽度群が占める割合を示す

## 8. 退院阻害要因の有無

7. 状態像で「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択され、かつ、入院期間が1年以上の患者について、退院阻害要因の有無を調べた。ほぼ全数の98.9% (177人) が「退院阻害要因がある」とされ、その内71.8% (127人) が軽度群であった。

表Ⅲ-8 退院阻害要因の有無（入院期間1年以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
退院阻害要因がある	177	98.9%	2	55	70	127	71.8%
退院阻害要因はない	2	1.1%	0	0	1	1	50.0%
<b>合計</b>	<b>179</b>	<b>100.0%</b>	<b>2</b>	<b>55</b>	<b>71</b>	<b>128</b>	

★割合は同一区分内で軽度群が占める割合を示す

## 9. 退院阻害要因

8. 退院阻害要因の有無で、「退院阻害要因がある」が選択され、かつ入院期間が1年以上の患者について、最も考えられる退院阻害要因を第1位とし、第3位まで調べた。「退院意欲が乏しい」が13.7%（64人）と最も多く、次いで「退院による環境変化への不安」が13.2%（62人）、「退院による環境変化への不安」が13.2%（62人）と続く。軽度群では「退院による環境変化への不安」が14.7%（49人）と最も多く、次いで「退院意欲が乏しい」が14.1%（47人）、「現実認識が乏しい」「受け入れ施設が確保できない」がともに11.4%（38人）と続く。

表Ⅲ-9 退院阻害要因（入院期間1年以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状が改善しない	12	2.6%	0	1	7	8	2.4%
病識なく服薬中断リスク大	33	7.1%	0	3	12	15	4.5%
迷惑行為がある	9	1.9%	0	1	6	7	2.1%
反社会的行動が予測される	2	0.4%	0	0	1	1	0.3%
退院意欲が乏しい	64	13.7%	1	19	27	47	14.1%
現実認識が乏しい	61	13.0%	0	7	31	38	11.4%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	24	5.1%	0	8	10	18	5.4%
退院による環境変化への不安	62	13.2%	1	25	23	49	14.7%
援助者との関係構築	12	2.6%	0	6	5	11	3.3%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	16	3.4%	0	8	3	11	3.3%
家族がいない	20	4.3%	0	5	7	12	3.6%
サポート体制が構築できない	21	4.5%	0	10	7	17	5.1%
家族が退院に反対している	29	6.2%	0	9	8	17	5.1%
家族以外の者が退院に反対している	6	1.3%	0	2	2	4	1.2%
住まいの確保ができない	36	7.7%	0	17	11	28	8.4%
受け入れ施設が確保できない	46	9.8%	0	19	19	38	11.4%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
退院サポート人材の不足	4	0.9%	0	2	1	3	0.9%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	4	0.9%	1	1	1	3	0.9%
その他の退院阻害要因がある	7	1.5%	1	4	1	6	1.8%
<b>合計</b>	<b>468</b>	<b>100.0%</b>	<b>4</b>	<b>147</b>	<b>182</b>	<b>333</b>	<b>100.0%</b>

★複数回答（最も大きな要因を第1位とし、最大第3位まで選択）

退院阻害要因第1位として最も多く選択されたのは「退院意欲が乏しい」で26.6%(47人)、次いで「病識なく服薬中断リスク大」が14.7%(26人)、「退院による環境変化への不安」が10.7%(19人)と続く。

**表Ⅲ-10 退院阻害要因（入院期間1年以上-選択順位別件数）**

	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	8	4.5%	4	2.5%	0	0.0%
病識なく服薬中断リスク大	26	14.7%	4	2.5%	3	2.3%
迷惑行為がある	3	1.7%	4	2.5%	2	1.6%
反社会的行動が予測される	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	47	26.6%	13	8.0%	4	3.1%
現実認識が乏しい	18	10.2%	25	15.4%	18	14.0%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	7	4.0%	9	5.6%	8	6.2%
退院による環境変化への不安	19	10.7%	30	18.5%	13	10.1%
援助者との関係構築	1	0.6%	5	3.1%	6	4.7%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	0	0.0%	6	3.7%	10	7.8%
家族がいない	3	1.7%	4	2.5%	13	10.1%
サポート体制が構築できない	1	0.6%	8	4.9%	12	9.3%
家族が退院に反対している	8	4.5%	11	6.8%	10	7.8%
家族以外の者が退院に反対している	3	1.7%	2	1.2%	1	0.8%
住まいの確保ができない	15	8.5%	13	8.0%	8	6.2%
受け入れ施設が確保できない	13	7.3%	19	11.7%	14	10.9%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	0.6%	0	0.0%	3	2.3%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	2	1.2%	2	1.6%
その他の退院阻害要因がある	3	1.7%	2	1.2%	2	1.6%
<b>合計</b>	<b>177</b>	<b>100.0%</b>	<b>162</b>	<b>100.0%</b>	<b>129</b>	<b>100.0%</b>

## 10. 退院後に必要なサービス

入院期間1年以上の全患者について、退院後に必要となるサービスについて、最も必要になるものを第1位とし、第3位まで調べた。「訪問看護」が14.0% (292人)と最も多く、次いで「施設入所支援(障害)」が12.2% (254人)、「共同生活援助(グループホーム)」が10.7% (223人)と続く。軽度群では、「訪問看護」が14.6% (65人)と最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が13.5% (60人)、「共同生活援助(グループホーム)」が11.5% (51人)と続く。

表Ⅲ-11 退院後に必要なサービス(入院期間1年以上)

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	58	2.8%	0	12	4	16	3.6%
重度訪問介護	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
短期入所(ショートステイ)	28	1.3%	0	1	1	2	0.4%
行動援護	3	0.1%	0	1	0	1	0.2%
同行援護	2	0.1%	0	0	2	2	0.4%
療養介護	2	0.1%	0	0	0	0	0.0%
生活介護	27	1.3%	0	0	1	1	0.2%
共同生活援助(グループホーム)	223	10.7%	0	11	40	51	11.5%
施設入所支援(障害)	254	12.2%	0	3	28	31	7.0%
特別養護老人ホーム	191	9.2%	0	12	14	26	5.8%
養護老人ホーム	153	7.4%	1	7	29	37	8.3%
老人保健施設	179	8.6%	1	8	32	41	9.2%
サービス付き高齢者向け住宅	185	8.9%	1	18	41	60	13.5%
認知症対応型グループホーム	33	1.6%	0	1	3	4	0.9%
自立訓練(機能訓練)	5	0.2%	0	0	1	1	0.2%
自立訓練(生活訓練)	39	1.9%	0	5	7	12	2.7%
宿泊型自立訓練	8	0.4%	0	0	2	2	0.4%
就労移行支援	1	0.0%	0	0	0	0	0.0%
就労継続支援A型(雇用型)	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
就労継続支援B型(非雇用型)	15	0.7%	0	0	3	3	0.7%
精神科デイケア	136	6.5%	1	20	11	32	7.2%
デイサービス(介護保険)	54	2.6%	0	7	3	10	2.2%
その他介護保険のサービス	5	0.2%	0	1	2	3	0.7%
地域定着支援	46	2.2%	0	4	8	12	2.7%
訪問看護	292	14.0%	0	32	33	65	14.6%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	12	0.6%	0	1	0	1	0.2%
家族への支援(心理教育等)	14	0.7%	0	2	1	3	0.7%
ピアサポート等自助活動	3	0.1%	0	0	0	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	3	0.1%	0	0	2	2	0.4%
地域活動支援センター	15	0.7%	0	0	6	6	1.3%
余暇活動支援	8	0.4%	0	4	1	5	1.1%
その他	85	4.1%	0	4	12	16	3.6%
<b>合計</b>	<b>2079</b>	<b>100.0%</b>	<b>4</b>	<b>154</b>	<b>287</b>	<b>445</b>	<b>100.0%</b>

★第1位から第3位までのいずれかを選択した件数を計上

退院後に必要なサービス第1位として最も多く選択されたのは「施設入所支援（障害）」で22.6%（223人）、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が17.3%（171人）、「特別養護老人ホーム」が13.6%（134人）と続く。退院後の居住先として入所系施設が重要視されている。

表Ⅲ-12 退院後に必要なサービス（入院期間1年以上-選択順位別）	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	18	1.8%	28	4.6%	12	2.5%
重度訪問介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	6	0.6%	15	2.5%	7	1.4%
行動援護	0	0.0%	2	0.3%	1	0.2%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
生活介護	5	0.5%	16	2.6%	6	1.2%
共同生活援助（グループホーム）	171	17.3%	40	6.6%	12	2.5%
施設入所支援（障害）	223	22.6%	17	2.8%	14	2.9%
特別養護老人ホーム	134	13.6%	37	6.1%	20	4.1%
養護老人ホーム	69	7.0%	58	9.6%	26	5.3%
老人保健施設	81	8.2%	73	12.1%	25	5.1%
サービス付き高齢者向け住宅	113	11.5%	44	7.3%	28	5.7%
認知症対応型グループホーム	7	0.7%	23	3.8%	3	0.6%
自立訓練（機能訓練）	0	0.0%	2	0.3%	3	0.6%
自立訓練（生活訓練）	13	1.3%	14	2.3%	12	2.5%
宿泊型自立訓練	5	0.5%	1	0.2%	2	0.4%
就労移行支援	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	6	0.6%	5	0.8%	4	0.8%
精神科デイケア	15	1.5%	57	9.4%	64	13.1%
デイサービス（介護保険）	2	0.2%	6	1.0%	46	9.4%
その他介護保険のサービス	4	0.4%	1	0.2%	0	0.0%
地域定着支援	5	0.5%	23	3.8%	18	3.7%
訪問看護	53	5.4%	117	19.4%	122	24.9%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	2	0.2%	4	0.7%	6	1.2%
家族への支援（心理教育等）	4	0.4%	4	0.7%	6	1.2%
ピアサポート等自助活動	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	1	0.1%	2	0.3%	0	0.0%
地域活動支援センター	4	0.4%	8	1.3%	3	0.6%
余暇活動支援	1	0.1%	2	0.3%	5	1.0%
その他	43	4.4%	2	0.3%	40	8.2%
<b>合計</b>	<b>986</b>	<b>100.0%</b>	<b>604</b>	<b>100.0%</b>	<b>489</b>	<b>100.0%</b>

1.1. 市町村、圏域別入院患者数

表Ⅲ-13 市町村別入院患者数（入院期間1年以上）

市町村名	入院患者数	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	346	0	14	44	58	16.8%
海南市	60	1	8	10	19	31.7%
橋本市	37	0	0	1	1	2.7%
有田市	23	0	4	2	6	26.1%
御坊市	34	0	6	17	23	67.6%
田辺市	54	0	10	8	18	33.3%
新宮市	54	0	2	8	10	18.5%
紀の川市	67	1	3	5	9	13.4%
岩出市	44	0	0	3	3	6.8%
紀美野町	21	0	4	6	10	47.6%
かつらぎ町	20	0	0	2	2	10.0%
九度山町	9	0	0	0	0	0.0%
高野町	4	0	0	0	0	0.0%
湯浅町	7	0	1	1	2	28.6%
広川町	4	0	0	2	2	50.0%
有田川町	17	0	1	1	2	11.8%
美浜町	1	0	0	0	0	0.0%
日高町	2	0	0	0	0	0.0%
由良町	1	0	0	0	0	0.0%
印南町	4	0	0	1	1	25.0%
みなべ町	1	0	0	0	0	0.0%
日高川町	6	0	0	0	0	0.0%
白浜町	16	0	2	0	2	12.5%
上富田町	3	0	0	0	0	0.0%
すさみ町	6	0	1	2	3	50.0%
那智勝浦町	44	0	5	9	14	31.8%
太地町	6	0	0	3	3	50.0%
古座川町	10	0	1	3	4	40.0%
北山村	0	0	0	0	0	0.0%
串本町	56	0	6	12	18	32.1%
県外	28	0	1	4	5	17.9%
不明	2	0	0	1	1	50.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>145</b>	<b>216</b>	

★割合は同一市町村で軽度群が占める割合を示す

表Ⅲ-14 圏域別入院患者数（入院期間1年以上）

圏域名	人数	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	346	0	14	44	58	16.8%
伊都	70	0	0	3	3	4.3%
那賀	111	1	3	8	12	10.8%
海草	81	1	12	16	29	35.8%
有田	51	0	6	6	12	23.5%
日高	48	0	6	18	24	50.0%
西牟婁	80	0	13	10	23	28.8%
東牟婁	170	0	14	35	49	28.8%
県外	28	0	1	4	5	17.9%
不明	2	0	0	1	1	50.0%
<b>合計</b>	<b>987</b>	<b>2</b>	<b>69</b>	<b>144</b>	<b>216</b>	<b>21.9%</b>

★割合は同一圏域で軽度群が占める割合を示す

## 第4章 65歳以上の入院患者の状況

本章では、年齢が65歳以上の入院患者の状況について単純集計を行った。

### 1. 年代別人数

「65歳～74歳」が51.4%（431人）、75歳以上が48.6%（408人）となり、入院患者全体の内、65歳以上の患者が占める割合は56.7%（839人）となった。軽度群が占める割合については、「65歳～74歳」で25.5%（110人）、「75歳以上」で27.9%（114人）であった。

**表IV-1 入院患者の年代別人数（65歳以上）**

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	軽度群合計	軽度群割合
65歳～74歳	431	51.4%	4	35	71	110	25.5%
75歳以上	408	48.6%	2	35	77	114	27.9%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一年齢区分内での軽度群が占める割合を示す

### 2. 入院形態

「任意入院」が57.6%（483人）と最も多い。軽度群が占める割合は「任意入院」で32.3%（252人）、「医療保護入院」で21.1%（75人）となっている。

**表IV-2 入院形態（65歳以上）**

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
任意入院	483	57.6%	5	47	97	149	30.8%
医療保護入院	356	42.4%	1	23	51	75	21.1%
措置入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
緊急措置入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
応急入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
鑑定入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
医療観察法による入院	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一入院形態で軽度群が占める割合を示す

### 3. 主診断名

「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が70.6% (592人) と最も多く、次いで「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」が8.5% (71人)、「F00 アルツハイマー病型認知症」が8.2% (69人) と続く。「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」内で軽度群が占める割合は24.8% (147人) で、「F02-09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害」では18.3% (13人)、「F00 アルツハイマー病型認知症」では33.3% (23人) であった。

表IV-3 主診断名 (65歳以上)

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
F00アルツハイマー病型認知症	69	8.2%	1	4	18	23	33.3%
F01血管性認知症	3	0.4%	0	1	0	1	0.0%
F02-09上記以外の症状性を含む器質性精神障害	71	8.5%	0	2	11	13	18.3%
F10アルコール使用による精神及び行動の障害	7	0.8%	0	2	2	4	57.1%
覚せい剤による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F2統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	592	70.6%	1	50	96	147	24.8%
F30-31 躁病エピソード・双極性感情障害 [躁うつ病]	26	3.1%	0	7	6	13	50.0%
F32-39 その他の気分障害	41	4.9%	4	4	6	14	34.1%
F4神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15	1.8%	0	0	6	6	40.0%
F5生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F6成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F7精神遅滞(知的障害)	11	1.3%	0	0	2	2	18.2%
F8心理的発達の障害	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
F9小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
てんかん (F0に属さないものを計上する)	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
その他	2	0.2%	0	0	1	1	0.0%
不明	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一疾患区分内で軽度群が占める割合を示す

#### 4. 入院期間

「3か月未満」「20年以上」がともに17.3%（145人）と最も多く、次いで「5年～10年未満」が16.1%（135人）、「1年～3年未満」が13.9%（117人）と続く。軽度群が占める割合が最も多いのは「3か月未満」で34.5%（50人）、「20年以上」が30.3%（44人）、「10年～15年未満」が27.5%（19人）となっている。

表IV-4 入院期間（65歳以上）

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
3か月未満	145	17.3%	4	11	35	50	34.5%
3～6か月未満	42	5.0%	1	5	6	12	28.6%
6か月～1年未満	50	6.0%	0	4	7	11	22.0%
1年～3年未満	117	13.9%	0	8	20	28	23.9%
3年～5年未満	102	12.2%	0	8	11	19	18.6%
5年～10年未満	135	16.1%	1	10	22	33	24.4%
10年～15年未満	69	8.2%	0	6	13	19	27.5%
15年～20年未満	34	4.1%	0	3	5	8	23.5%
20年以上	145	17.3%	0	15	29	44	30.3%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一入院期間区分で軽度群が占める割合を示す

#### 5. 病状

「中等度」が49.3%（414人）と最も多く、次いで「重度」が21.1%（177人）、「軽度」が17.6%（148人）と続く。

表IV-5 病状（65歳以上）

	合計	割合
寛解	6	0.7%
院内寛解	70	8.3%
軽度	148	17.6%
<b>軽度群小計</b>	<b>224</b>	<b>26.7%</b>
中等度	414	49.3%
重度	177	21.1%
最重度	24	2.9%
<b>重度群小計</b>	<b>615</b>	<b>73.3%</b>
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>

## 6. 退院希望

「不明」が49.2% (413人)と最も多く、次いで「希望している」が30.8% (258人)、「希望していない」が20.0% (168人)と続く。軽度群が占める割合が最も多いのは「希望していない」で33.9% (57人)、「希望している」が32.9% (85人)、「不明」が19.9% (82人)となっている。

表IV-6 退院希望 (65歳以上)

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
希望している	258	30.8%	3	32	50	85	32.9%
希望していない	168	20.0%	1	22	34	57	33.9%
不明	413	49.2%	2	16	64	82	19.9%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一退院希望区分内で軽度群が占める割合を示す

## 7. 状態像

「病状 (主症状) が不安定で入院による治療が必要」が73.4% (616人)と最も多く、次いで「病状 (主症状) が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が18.4% (154人)、「退院予定」が8.2% (69人)となっている。軽度群では、「病状 (主症状) が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が74.7% (115人)と最も多く、次いで「退院予定」が50.7% (35人)、「病状 (主症状) が不安定で入院による治療が必要」が12.0% (74人)となっている。

表IV-7 状態像 (65歳以上)

	合計	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状 (主症状) が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	154	18.4%	1	51	63	115	74.7%
病状 (主症状) が不安定で入院による治療が必要	616	73.4%	0	9	65	74	12.0%
退院予定	69	8.2%	5	10	20	35	50.7%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一状態像区分内で軽度群が占める割合を示す

## 8. 退院阻害要因の有無

7. 状態像で「病状 (主症状) が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択され、かつ、年齢が65歳以上の患者について、退院阻害要因の有無を調べた。98.1% (151人)が「退院阻害要因がある」とされ、その内74.2% (112人)が軽度群であった。

表IV-8 退院阻害要因の有無 (65歳以上)

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
退院阻害要因がある	151	98.1%	1	51	60	112	74.2%
退院阻害要因はない	3	1.9%	0	0	3	3	100.0%
<b>合計</b>	<b>154</b>	<b>100.0%</b>	<b>1</b>	<b>51</b>	<b>63</b>	<b>115</b>	

★割合は同一区分内で軽度群が占める割合を示す

## 9. 退院阻害要因

8. 退院阻害要因の有無で、「退院阻害要因がある」が選択され、かつ年齢が65歳以上の患者について、最も考えられる退院阻害要因を第1位とし、第3位まで調べた。「受け入れ施設が確保できない」が14.6% (57人)と最も多く、次いで「現実認識が乏しい」「退院による環境変化への不安」がともに11.8% (46人)、「退院意欲が乏しい」が11.3% (44人)と続く。軽度群では「受け入れ施設が確保できない」が14.7% (43人)と最も多く、次いで「退院意欲が乏しい」が12.6% (37人)、「退院による環境変化への不安」が12.3% (36人)と続く。

表IV-9 退院阻害要因 (65歳以上)

	人数	割合	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
病状が改善しない	9	2.3%	0	1	6	7	2.4%
病識なく服薬中断リスク大	30	7.7%	0	4	14	18	6.1%
迷惑行為がある	6	1.5%	0	0	4	4	1.4%
反社会的行動が予測される	2	0.5%	0	0	2	2	0.7%
退院意欲が乏しい	44	11.3%	1	16	20	37	12.6%
現実認識が乏しい	46	11.8%	0	5	22	27	9.2%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	19	4.9%	0	6	9	15	5.1%
退院による環境変化への不安	46	11.8%	1	19	16	36	12.3%
援助者との関係構築	9	2.3%	0	5	4	9	3.1%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	13	3.3%	0	8	2	10	3.4%
家族がいない	16	4.1%	0	6	6	12	4.1%
サポート体制が構築できない	17	4.3%	0	8	6	14	4.8%
家族が退院に反対している	26	6.6%	0	9	9	18	6.1%
家族以外の者が退院に反対している	6	1.5%	0	4	0	4	1.4%
住まいの確保ができない	33	8.4%	0	16	11	27	9.2%
受け入れ施設が確保できない	57	14.6%	0	19	24	43	14.7%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
退院サポート人材の不足	3	0.8%	0	2	0	2	0.7%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	4	1.0%	1	1	1	3	1.0%
その他の退院阻害要因がある	5	1.3%	0	4	1	5	1.7%
<b>合計</b>	<b>391</b>	<b>100.0%</b>	<b>3</b>	<b>133</b>	<b>157</b>	<b>293</b>	<b>100.0%</b>

★第1位から第3位までのいずれかを選択した件数を計上

退院阻害要因第1位として最も多く選択されたのは「退院意欲が乏しい」で22.5%(34人)、次いで「病識なく服薬中断リスク大」が13.9%(21人)、「受け入れ施設が確保できない」が13.2%(20人)と続く。

**表IV-10 退院阻害要因（65歳以上-選択順位別）**

	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	6	4.0%	3	2.1%	0	0.0%
病識なく服薬中断リスク大	21	13.9%	7	5.0%	2	2.0%
迷惑行為がある	3	2.0%	2	1.4%	1	1.0%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	2	1.4%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	34	22.5%	6	4.3%	4	4.0%
現実認識が乏しい	15	9.9%	20	14.3%	11	11.0%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	7	4.6%	6	4.3%	6	6.0%
退院による環境変化への不安	12	7.9%	22	15.7%	12	12.0%
援助者との関係構築	1	0.7%	4	2.9%	4	4.0%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	0.7%	6	4.3%	6	6.0%
家族がいない	4	2.6%	3	2.1%	9	9.0%
サポート体制が構築できない	1	0.7%	6	4.3%	10	10.0%
家族が退院に反対している	6	4.0%	12	8.6%	8	8.0%
家族以外の者が退院に反対している	3	2.0%	2	1.4%	1	1.0%
住まいの確保ができない	15	9.9%	12	8.6%	6	6.0%
受け入れ施設が確保できない	20	13.2%	23	16.4%	14	14.0%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	2	1.4%	2	2.0%
その他の退院阻害要因がある	2	1.3%	2	1.4%	1	1.0%
<b>合計</b>	<b>151</b>	<b>100.0%</b>	<b>140</b>	<b>100.0%</b>	<b>100</b>	<b>100.0%</b>

## 10. 退院後に必要なサービス

65歳以上の全患者について、退院後に必要となるサービスを、最も必要になるものを第1位とし、第3位まで調べた。「特別養護老人ホーム」が14.5%（248人）と最も多く、次いで「老人保健施設」が12.7%（217人）、「サービス付き高齢者向け住宅」が12.4%（212人）と続く。軽度群では、「サービス付き高齢者向け住宅」が15.6%（68人）と最も多く、次いで「訪問看護」が12.8%（56人）、「老人保健施設」が11.7%（51人）と続く。

表IV-11 退院後に必要なサービス（65歳以上）

	人数	割合				合計	割合
			寛解	院内寛解	軽度		
居宅介護（ホームヘルプ）	45	2.6%	1	13	7	21	4.8%
重度訪問介護	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	28	1.6%	0	1	2	3	0.7%
行動援護	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
同行援護	3	0.2%	0	0	3	3	0.7%
療養介護	3	0.2%	0	0	1	1	0.2%
生活介護	9	0.5%	0	0	1	1	0.2%
共同生活援助（グループホーム）	74	4.3%	0	5	24	29	6.6%
施設入所支援（障害）	162	9.5%	0	4	16	20	4.6%
特別養護老人ホーム	248	14.5%	0	14	27	41	9.4%
養護老人ホーム	163	9.6%	1	9	34	44	10.1%
老人保健施設	217	12.7%	1	8	42	51	11.7%
サービス付き高齢者向け住宅	212	12.4%	2	20	46	68	15.6%
認知症対応型グループホーム	56	3.3%	0	2	6	8	1.8%
自立訓練（機能訓練）	2	0.1%	0	0	1	1	0.2%
自立訓練（生活訓練）	12	0.7%	0	1	2	3	0.7%
宿泊型自立訓練	1	0.1%	0	0	1	1	0.2%
就労移行支援	1	0.1%	0	0	0	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	4	0.2%	0	0	1	1	0.2%
精神科デイケア	61	3.6%	0	12	11	23	5.3%
デイサービス（介護保険）	82	4.8%	1	12	8	21	4.8%
その他介護保険のサービス	12	0.7%	0	1	2	3	0.7%
地域定着支援	18	1.1%	0	4	2	6	1.4%
訪問看護	183	10.7%	3	28	25	56	12.8%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	5	0.3%	0	1	2	3	0.7%
家族への支援（心理教育等）	9	0.5%	1	2	1	4	0.9%
ピアサポート等自助活動	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	2	0.1%	0	0	1	1	0.2%
地域活動支援センター	3	0.2%	0	0	2	2	0.5%
余暇活動支援	9	0.5%	0	6	1	7	1.6%
その他	80	4.7%	0	7	8	15	3.4%
<b>合計</b>	<b>1706</b>	<b>100.0%</b>	<b>10</b>	<b>150</b>	<b>277</b>	<b>437</b>	<b>100.0%</b>

★第1位から第3位までのいずれかを選択した件数を計上

退院後に必要なサービス第1位として最も多く選択されたのは「特別養護老人ホーム」で21.7%（180人）、次いで「施設入所支援（障害）」が15.6%（129人）、「サービス付き高齢者向け住宅」が14.7%（122人）と続く。退院後の居住先として入所系施設が重要視されている。

表IV-12 退院後に必要なサービス（65歳以上-選択順位別）	1位選択件数		2位選択件数		3位選択件数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
在宅介護（ホームヘルプ）	17	2.1%	21	4.2%	7	1.8%
重度訪問介護	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	6	0.7%	14	2.8%	8	2.1%
行動援護	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	3	0.8%
生活介護	2	0.2%	2	0.4%	5	1.3%
共同生活援助（グループホーム）	52	6.3%	14	2.8%	8	2.1%
施設入所支援（障害）	129	15.6%	17	3.4%	16	4.2%
特別養護老人ホーム	180	21.7%	46	9.3%	22	5.8%
養護老人ホーム	65	7.8%	65	13.1%	33	8.6%
老人保健施設	108	13.0%	84	17.0%	25	6.5%
サービス付き高齢者向け住宅	122	14.7%	52	10.5%	38	9.9%
認知症対応型グループホーム	20	2.4%	32	6.5%	4	1.0%
自立訓練（機能訓練）	0	0.0%	1	0.2%	1	0.3%
自立訓練（生活訓練）	4	0.5%	4	0.8%	4	1.0%
宿泊型自立訓練	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
就労移行支援	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	1	0.1%	1	0.2%	2	0.5%
精神科デイケア	8	1.0%	18	3.6%	35	9.2%
デイサービス（介護保険）	8	1.0%	13	2.6%	61	16.0%
その他介護保険のサービス	6	0.7%	3	0.6%	3	0.8%
地域定着支援	1	0.1%	9	1.8%	8	2.1%
訪問看護	40	4.8%	85	17.2%	58	15.2%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	1	0.1%	3	0.6%	1	0.3%
家族への支援（心理教育等）	4	0.5%	1	0.2%	4	1.0%
ピアサポート等自助活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	0	0.0%	3	0.6%	0	0.0%
余暇活動支援	1	0.1%	2	0.4%	6	1.6%
その他	50	6.0%	3	0.6%	27	7.1%
<b>合計</b>	<b>829</b>	<b>100.0%</b>	<b>495</b>	<b>100.0%</b>	<b>382</b>	<b>100.0%</b>

1.1. 市町村、圏域別入院患者数

表IV-13 市町村別入院患者数（65歳以上）

	入院患者数	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	284	4	15	41	60	21.1%
海南市	60	0	8	14	22	36.7%
橋本市	33	0	0	2	2	6.1%
有田市	24	1	5	1	7	29.2%
御坊市	38	0	8	22	30	78.9%
田辺市	44	0	8	10	18	40.9%
新宮市	42	0	1	8	9	21.4%
紀の川市	59	1	2	5	8	13.6%
岩出市	33	0	0	1	1	3.0%
紀美野町	19	0	3	5	8	42.1%
かつらぎ町	17	0	0	2	2	11.8%
九度山町	7	0	0	0	0	0.0%
高野町	4	0	0	0	0	0.0%
湯浅町	8	0	1	3	4	50.0%
広川町	1	0	0	1	1	100.0%
有田川町	13	0	0	1	1	7.7%
美浜町	2	0	1	0	1	50.0%
日高町	1	0	0	0	0	0.0%
由良町	1	0	0	0	0	0.0%
印南町	4	0	0	0	0	0.0%
みなべ町	0	0	0	0	0	0.0%
日高川町	6	0	0	1	1	16.7%
白浜町	18	0	6	2	8	44.4%
上富田町	2	0	0	1	1	50.0%
すさみ町	5	0	1	2	3	60.0%
那智勝浦町	32	0	3	9	12	37.5%
太地町	3	0	0	2	2	66.7%
古座川町	8	0	1	3	4	50.0%
北山村	0	0	0	0	0	0.0%
串本町	49	0	6	9	15	30.6%
県外	21	0	1	3	4	19.0%
不明	1	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	

★割合は同一市町村で軽度群が占める割合を示す

表IV-14 圏域別入院患者数（65歳以上）

	人数	寛解	院内寛解	軽度	合計	割合
和歌山市	284	4	15	41	60	21.1%
伊都	61	0	0	4	4	6.6%
那賀	92	1	2	6	9	9.8%
海草	79	0	11	19	30	38.0%
有田	46	1	6	6	13	28.3%
日高	52	0	9	23	32	61.5%
西牟婁	69	0	15	15	30	43.5%
東牟婁	134	0	11	31	42	31.3%
県外	21	0	1	3	4	19.0%
不明	1	0	0	0	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>839</b>	<b>6</b>	<b>70</b>	<b>148</b>	<b>224</b>	<b>26.7%</b>

★割合は同一圏域で軽度群が占める割合を示す

## 第5章 クロス集計

本章では、調査項目別にクロス集計を行った。

### 1. 退院阻害要因

#### ①65歳未満・以上別

「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者は、65歳未満で15.0%（96人）、65歳以上で18.4%（154人）となっている。

軽度群について見ると、「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者は、65歳未満・以上ともに33.0%（59人）、となっている。

表V-1 状態像×65歳未満・以上					軽度群			
	65歳未満		65歳以上		65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	96	15.0%	154	18.4%	59	33.0%	115	51.3%
病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要	441	68.8%	616	73.4%	57	31.8%	74	33.0%
退院予定	104	16.2%	69	8.2%	63	35.2%	35	15.6%
<b>合計</b>	<b>641</b>	<b>100.0%</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>179</b>	<b>100.0%</b>	<b>224</b>	<b>100.0%</b>

退院を希望している者の割合は、「65歳未満」で43.8%（281人）、「65歳以上」で30.8%（258人）となっている。軽度群について見ると、退院を希望している者の割合は、「65歳未満」で62.6%（112人）、「65歳以上」で37.9%（85人）となっている。

表V-2 退院の希望×65歳未満・以上					軽度群			
	65歳未満		65歳以上		65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
希望している	281	43.8%	258	30.8%	112	62.6%	85	37.9%
希望していない	112	17.5%	168	20.0%	19	10.6%	57	25.4%
不明	248	38.7%	413	49.2%	48	26.8%	82	36.6%
<b>合計</b>	<b>641</b>	<b>100.0%</b>	<b>839</b>	<b>100.0%</b>	<b>179</b>	<b>100.0%</b>	<b>224</b>	<b>100.0%</b>

表V-1で「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者の内、「退院阻害要因がある」が選択された患者は、65歳未満で93.8%（90人）、65歳以上で98.1%（151人）であった。

軽度群について見ると、「退院阻害要因がある」が選択された患者は、65歳未満で93.2%（55人）、65歳以上で97.4%（112人）であった。

表V-3 退院阻害要因の有無×65歳未満・以上					軽度群			
	65歳未満		65歳以上		65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
退院阻害要因がある	90	93.8%	151	98.1%	55	93.2%	112	97.4%
退院阻害要因はない	6	6.3%	3	1.9%	4	6.8%	3	2.6%
<b>合計</b>	<b>96</b>	<b>100.0%</b>	<b>154</b>	<b>100.0%</b>	<b>59</b>	<b>100.0%</b>	<b>115</b>	<b>100.0%</b>

退院阻害要因について、65歳未満・以上で見ると、65歳未満では「現実認識が乏しい」が14.4%（33人）と最も多く、次いで「退院による環境変化への不安」が13.5%（31人）、「退院意欲が乏しい」が11.4%（26人）と続く。65歳以上では「受け入れ施設が確保できない」が14.6%（57人）と最も多く、次いで「現実認識が乏しい」「退院による環境変化への不安」がともに11.8%（46人）と続く。

軽度群について見ると、65歳未満では「退院による環境変化への不安」が17.0%（24人）と最も多く、次いで「退院意欲が乏しい」「現実認識が乏しい」がともに10.6%（15人）と続く。65歳以上では「受け入れ施設が確保できない」が14.7%（43人）と最も多く、次いで「退院意欲が乏しい」が12.6%（37人）、「退院による環境変化への不安」が12.3%と続く。

表V-4 退院阻害要因×65歳未満・以上

	65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	13	5.7%	9	2.3%
病識なく服薬中断リスク大	25	10.9%	30	7.7%
迷惑行為がある	9	3.9%	6	1.5%
反社会的行動が予測される	1	0.4%	2	0.5%
退院意欲が乏しい	26	11.4%	44	11.3%
現実認識が乏しい	33	14.4%	46	11.8%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	13	5.7%	19	4.9%
退院による環境変化への不安	31	13.5%	46	11.8%
援助者との関係構築	6	2.6%	9	2.3%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	8	3.5%	13	3.3%
家族がいない	8	3.5%	16	4.1%
サポート体制が構築できない	11	4.8%	17	4.3%
家族が退院に反対している	13	5.7%	26	6.6%
家族以外の者が退院に反対している	2	0.9%	6	1.5%
住まいの確保ができない	13	5.7%	33	8.4%
受け入れ施設が確保できない	11	4.8%	57	14.6%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	3	1.3%	3	0.8%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	4	1.0%
その他の退院阻害要因がある	3	1.3%	5	1.3%
<b>合計</b>	<b>229</b>	<b>100.0%</b>	<b>391</b>	<b>100.0%</b>

軽度群

	65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合
	8	5.7%	7	2.4%
	11	7.8%	18	6.1%
	7	5.0%	4	1.4%
	0	0.0%	2	0.7%
	15	10.6%	37	12.6%
	15	10.6%	27	9.2%
	10	7.1%	15	5.1%
	24	17.0%	36	12.3%
	5	3.5%	9	3.1%
	3	2.1%	10	3.4%
	4	2.8%	12	4.1%
	8	5.7%	14	4.8%
	8	5.7%	18	6.1%
	2	1.4%	4	1.4%
	9	6.4%	27	9.2%
	8	5.7%	43	14.7%
	0	0.0%	0	0.0%
	2	1.4%	2	0.7%
	0	0.0%	3	1.0%
	2	1.4%	5	1.7%
<b>合計</b>	<b>141</b>	<b>100.0%</b>	<b>293</b>	<b>100.0%</b>

最も大きな退院阻害要因として選択された要因について見ると、65歳未満では「退院意欲が乏しい」が18.9%（17人）と最も多く、次いで「病識なく服薬中断リスク大」が16.7%（15人）、「退院による環境変化への不安」が12.2%（11人）と続く。65歳以上では「退院意欲が乏しい」が22.5%（34人）と最も多く、次いで「病識なく服薬中断リスク大」が13.9%（21人）、「受け入れ施設が確保できない」が13.2%（20人）と続く。

軽度群について見ると、65歳未満では「退院意欲が乏しい」が21.8%（12人）と最も多く、次いで「病状が改善しない」が12.7%（7人）、「現実認識が乏しい」「退院による環境変化への不安」がともに10.9%（6人）と続く。65歳以上では「退院意欲が乏しい」が25.9%（29人）と最も多く、次いで「住まいの確保ができない」が13.4%（15人）、「受け入れ施設が確保できない」が12.5%（14人）と続く。

	65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	9	10.0%	6	4.0%
病識なく服薬中断リスク大	15	16.7%	21	13.9%
迷惑行為がある	4	4.4%	3	2.0%
反社会的行動が予測される	1	1.1%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	17	18.9%	34	22.5%
現実認識が乏しい	9	10.0%	15	9.9%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	1	1.1%	7	4.6%
退院による環境変化への不安	11	12.2%	12	7.9%
援助者との関係構築	1	1.1%	1	0.7%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	0	0.0%	1	0.7%
家族がいない	2	2.2%	4	2.6%
サポート体制が構築できない	2	2.2%	1	0.7%
家族が退院に反対している	5	5.6%	6	4.0%
家族以外の者が退院に反対している	1	1.1%	3	2.0%
住まいの確保ができない	3	3.3%	15	9.9%
受け入れ施設が確保できない	6	6.7%	20	13.2%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	2	2.2%	0	0.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	1	1.1%	2	1.3%
<b>合計</b>	<b>90</b>	<b>100.0%</b>	<b>151</b>	<b>100.0%</b>

	65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	7	12.7%	5	4.5%
病識なく服薬中断リスク大	5	9.1%	11	9.8%
迷惑行為がある	2	3.6%	2	1.8%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	12	21.8%	29	25.9%
現実認識が乏しい	6	10.9%	7	6.3%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	1	1.8%	6	5.4%
退院による環境変化への不安	6	10.9%	9	8.0%
援助者との関係構築	1	1.8%	1	0.9%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	0	0.0%	1	0.9%
家族がいない	1	1.8%	2	1.8%
サポート体制が構築できない	1	1.8%	1	0.9%
家族が退院に反対している	3	5.5%	5	4.5%
家族以外の者が退院に反対している	1	1.8%	2	1.8%
住まいの確保ができない	3	5.5%	15	13.4%
受け入れ施設が確保できない	4	7.3%	14	12.5%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	1.8%	0	0.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	1	1.8%	2	1.8%
<b>合計</b>	<b>55</b>	<b>100.0%</b>	<b>112</b>	<b>100.0%</b>

## ②退院希望の有無別

「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者を退院希望の有無別で見ると、「希望している」で19.7%（106人）、「希望していない」で28.9%（81人）、「不明」で9.5%（63人）となっている。

軽度群について見ると、「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者は、「希望している」で37.6%（74人）、「希望していない」で77.6%（59人）、「不明」で31.5%（41人）となっている。

表V-6 状態像×退院の希望							軽度群					
	希望している		希望していない		不明		希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	106	19.7%	81	28.9%	63	9.5%	74	37.6%	59	77.6%	41	31.5%
病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要	316	58.6%	192	68.6%	549	83.1%	39	19.8%	16	21.1%	76	58.5%
退院予定	117	21.7%	7	2.5%	49	7.4%	84	42.6%	1	1.3%	13	10.0%
合計	539	100.0%	280	100.0%	661	100.0%	197	100.0%	76	100.0%	130	100.0%

表V-6で「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が選択された患者の内、「退院阻害要因がある」が選択された患者は、「希望している」で94.3%（100人）、「希望していない」で96.3%（78人）、「不明」で100.0%（63人）であった。

軽度群について見ると、「退院阻害要因がある」が選択された患者は、「希望している」で91.9%（68人）、「希望していない」で98.3%（58人）、「不明」で100.0%（41人）であった。

表V-7 退院阻害要因の有無×退院の希望							軽度群					
	希望している		希望していない		不明		希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
退院阻害要因がある	100	94.3%	78	96.3%	63	100.0%	68	91.9%	58	98.3%	41	100.0%
退院阻害要因はない	6	5.7%	3	3.7%	0	0.0%	6	8.1%	1	1.7%	0	0.0%
合計	106	100.0%	81	100.0%	63	100.0%	74	100.0%	59	100.0%	41	100.0%

退院阻害要因について、退院希望の有無別で見ると、「希望している」では「現実認識が乏しい」が15.7% (38人)と最も多く、次いで「受け入れ施設が確保できない」が15.3% (37人)、「病識なく服薬中断リスク大」「住まいの確保ができない」がともに11.2% (27人)と続く。「希望していない」では「退院意欲が乏しい」が23.9% (51人)と最も多く、次いで、「退院による環境変化への不安」が17.4% (37人)、「現実認識が乏しい」が7.5% (38人)と続く。

軽度群について見ると、「希望している」では「受け入れ施設が確保できない」が16.4% (28人)と最も多く、次いで「住まいの確保ができない」が13.5% (23人)、「現実認識が乏しい」が12.3% (21人)と続く。「希望していない」では「退院意欲が乏しい」が24.8% (39人)と最も多く、次いで「退院による環境変化への不安」が19.7% (31人)、「セルフネグレクトに至る可能性が高い」が7.6% (12人)と続く。

表V-8 退院阻害要因×退院の希望

	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	15	6.2%	4	1.9%	3	1.8%
病識なく服薬中断リスク大	27	11.2%	16	7.5%	12	7.3%
迷惑行為がある	8	3.3%	3	1.4%	4	2.4%
反社会的行動が予測される	1	0.4%	1	0.5%	1	0.6%
退院意欲が乏しい	4	1.7%	51	23.9%	15	9.1%
現実認識が乏しい	38	15.7%	16	7.5%	25	15.2%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	9	3.7%	15	7.0%	8	4.8%
退院による環境変化への不安	22	9.1%	37	17.4%	18	10.9%
援助者との関係構築	5	2.1%	7	3.3%	3	1.8%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	7	2.9%	10	4.7%	4	2.4%
家族がいない	9	3.7%	12	5.6%	3	1.8%
サポート体制が構築できない	7	2.9%	8	3.8%	13	7.9%
家族が退院に反対している	16	6.6%	9	4.2%	14	8.5%
家族以外の者が退院に反対している	4	1.7%	3	1.4%	1	0.6%
住まいの確保ができない	27	11.2%	9	4.2%	10	6.1%
受け入れ施設が確保できない	37	15.3%	8	3.8%	23	13.9%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	3	1.2%	0	0.0%	3	1.8%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	1	0.4%	2	0.9%	1	0.6%
その他の退院阻害要因がある	2	0.8%	2	0.9%	4	2.4%
合計	242	100.0%	213	100.0%	165	100.0%

軽度群

	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	10	5.8%	3	1.9%	2	1.9%
病識なく服薬中断リスク大	16	9.4%	7	4.5%	6	5.7%
迷惑行為がある	7	4.1%	3	1.9%	1	0.9%
反社会的行動が予測される	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	3	1.8%	39	24.8%	10	9.4%
現実認識が乏しい	21	12.3%	9	5.7%	12	11.3%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	7	4.1%	12	7.6%	6	5.7%
退院による環境変化への不安	18	10.5%	31	19.7%	11	10.4%
援助者との関係構築	4	2.3%	7	4.5%	3	2.8%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	2	1.2%	8	5.1%	3	2.8%
家族がいない	6	3.5%	9	5.7%	1	0.9%
サポート体制が構築できない	6	3.5%	8	5.1%	8	7.5%
家族が退院に反対している	12	7.0%	4	2.5%	10	9.4%
家族以外の者が退院に反対している	3	1.8%	3	1.9%	0	0.0%
住まいの確保ができない	23	13.5%	4	2.5%	9	8.5%
受け入れ施設が確保できない	28	16.4%	6	3.8%	17	16.0%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	2	1.2%	0	0.0%	2	1.9%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	2	1.3%	1	0.9%
その他の退院阻害要因がある	2	1.2%	1	0.6%	4	3.8%
合計	171	100.0%	157	100.0%	106	100.0%

最も大きな退院阻害要因として選択された要因について見ると、「希望している」では「病識なく服薬中断リスク大」が17.0%（17人）と最も多く、次いで「現実認識が乏しい」「受け入れ施設が確保できない」がともに15.0%（15人）、「病状が改善しない」が13.0%（13人）と続く。「希望していない」では「退院意欲が乏しい」が47.4%（37人）と最も多く、次いで「病識なく服薬中断リスク大」「退院による環境変化への不安」がともに12.8%（10人）、「セルフネグレクトに至る可能性が高い」が5.1%（4人）と続く。

軽度群について見ると、「希望している」では「住まいの確保ができない」が16.2%（11人）と最も多く、次いで「病状が改善しない」「受け入れ施設が確保できない」がともに14.7%（10人）、「病識なく服薬中断リスク大」が13.2%（9人）と続く。「希望していない」では「退院意欲が乏しい」が53.4%（31人）と最も多く、次いで「退院による環境変化への不安」が10.3%（6人）、「セルフネグレクトに至る可能性が高い」が6.9%（4人）と続く。

表V-9 退院阻害要因（第1位として選択された件数）×退院の希望

退院阻害要因	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	13	13.0%	2	2.6%	0	0.0%
病識なく服薬中断リスク大	17	17.0%	10	12.8%	9	14.3%
迷惑行為がある	3	3.0%	2	2.6%	2	3.2%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
退院意欲が乏しい	2	2.0%	37	47.4%	12	19.0%
現実認識が乏しい	15	15.0%	2	2.6%	7	11.1%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	1	1.0%	4	5.1%	3	4.8%
退院による環境変化への不安	7	7.0%	10	12.8%	6	9.5%
援助者との関係構築	1	1.0%	1	1.3%	0	0.0%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
家族がいない	2	2.0%	1	1.3%	3	4.8%
サポート体制が構築できない	1	1.0%	2	2.6%	0	0.0%
家族が退院に反対している	6	6.0%	2	2.6%	3	4.8%
家族以外の者が退院に反対している	3	3.0%	1	1.3%	0	0.0%
住まいの確保ができない	11	11.0%	1	1.3%	6	9.5%
受け入れ施設が確保できない	15	15.0%	3	3.8%	8	12.7%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	1.0%	0	0.0%	1	1.6%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	1	1.0%	0	0.0%	2	3.2%
合計	100	100.0%	78	100.0%	63	100.0%

軽度群

退院阻害要因	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	10	14.7%	2	3.4%	0	0.0%
病識なく服薬中断リスク大	9	13.2%	3	5.2%	4	9.8%
迷惑行為がある	2	2.9%	2	3.4%	0	0.0%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	2	2.9%	31	53.4%	8	19.5%
現実認識が乏しい	7	10.3%	2	3.4%	4	9.8%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	0	0.0%	4	6.9%	3	7.3%
退院による環境変化への不安	5	7.4%	6	10.3%	4	9.8%
援助者との関係構築	1	1.5%	1	1.7%	0	0.0%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
家族がいない	2	2.9%	0	0.0%	1	2.4%
サポート体制が構築できない	0	0.0%	2	3.4%	0	0.0%
家族が退院に反対している	5	7.4%	1	1.7%	2	4.9%
家族以外の者が退院に反対している	2	2.9%	1	1.7%	0	0.0%
住まいの確保ができない	11	16.2%	1	1.7%	6	14.6%
受け入れ施設が確保できない	10	14.7%	2	3.4%	6	14.6%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	1	1.5%	0	0.0%	2	4.9%
合計	68	100.0%	58	100.0%	41	100.0%

### ③入院期間別

入院期間を「1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年以上」の4区分に分けて集計した。

「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が最も多いのは「1年～5年未満」で19.6%（77人）、次いで「10年以上」が19.0%（68人）、「1年未満」が14.4%（71人）と続く。「病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要」が最も多いのは「5年～10年未満」で81.4%（193人）、次いで「10年以上」が77.9%（278人）、「1年～5年未満」が73.0%（287人）と続く。

軽度群について見ると、「病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復」が最も多いのは「10年以上」で62.2%（56人）、次いで「1年～5年未満」が60.3%（47人）、「5年～10年未満」が52.1%（25人）と続く。

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状（主症状）が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	71	14.4%	77	19.6%	34	14.3%	68	19.0%
病状（主症状）が不安定で入院による治療が必要	299	60.6%	287	73.0%	193	81.4%	278	77.9%
退院予定	123	24.9%	29	7.4%	10	4.2%	11	3.1%
合計	493	100.0%	393	100.0%	237	100.0%	357	100.0%

1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
46	24.6%	47	60.3%	25	52.1%	56	62.2%
54	28.9%	27	34.6%	19	39.6%	31	34.4%
87	46.5%	4	5.1%	4	8.3%	3	3.3%
187	100.0%	78	100.0%	48	100.0%	90	100.0%

「希望している」が最も多いのは「1年未満」で55.2%（272人）で、期間が長期化するほど割合が低下する傾向がある。「希望していない」では「1年未満」で10.5%（52人）であるが、こちらは期間が長期化するほど割合が増加する傾向がある。軽度群についても同様の傾向がみられる。

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
希望している	272	55.2%	132	33.6%	62	26.2%	73	20.4%
希望していない	52	10.5%	81	20.6%	54	22.8%	93	26.1%
不明	169	34.3%	180	45.8%	121	51.1%	191	53.5%
合計	493	100.0%	393	100.0%	237	100.0%	357	100.0%

1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
141	75.4%	28	35.9%	10	20.8%	18	20.0%
10	5.3%	17	21.8%	15	31.3%	34	37.8%
36	19.3%	33	42.3%	23	47.9%	38	42.2%
187	100.0%	78	100.0%	48	100.0%	90	100.0%

ほぼ全ての患者が「退院阻害要因がある」とされ、入院期間により大きな差は見られなかった。

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
退院阻害要因がある	64	90.1%	77	100.0%	33	97.1%	67	98.5%
退院阻害要因はない	7	9.9%	0	0.0%	1	2.9%	1	1.5%
合計	71	100.0%	77	100.0%	34	100.0%	68	100.0%

1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40	87.0%	47	100.0%	24	96.0%	56	100.0%
6	13.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%
46	100.0%	47	100.0%	25	100.0%	56	100.0%

退院阻害要因について、入院期間別にみると「1年未満」では「病識なく服薬中断リスク大」「受け入れ施設が確保できない」がともに14.5% (22人) と最も多く、「1年～5年未満」では「現実認識が乏しい」が13.7% (28人)、「5年～10年未満」では「退院による環境変化への不安」が20.7% (17人)、「10年以上」では「退院による環境変化への不安」が14.4% (26人) となっている。

軽度群について見ると、「1年未満」では「病識なく服薬中断リスク大」が13.9% (14人) と最も多く、「1年～5年未満」では「現実認識が乏しい」が11.8% (15人)、「5年～10年未満」では「退院による環境変化への不安」が22.8% (13人)、「10年以上」では「受け入れ施設が確保できない」が16.8% (25人) となっている。

表V-13 退院阻害要因 (単純集計) ×入院期間 (4区分)

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	10	6.6%	8	3.9%	2	2.4%	2	1.1%
病識なく服薬中断リスク大	22	14.5%	21	10.2%	6	7.3%	6	3.3%
迷惑行為がある	6	3.9%	7	3.4%	1	1.2%	1	0.6%
反社会的行動が予測される	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.1%
退院意欲が乏しい	6	3.9%	24	11.7%	15	18.3%	25	13.8%
現実認識が乏しい	18	11.8%	28	13.7%	9	11.0%	24	13.3%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	8	5.3%	12	5.9%	4	4.9%	8	4.4%
退院による環境変化への不安	15	9.9%	19	9.3%	17	20.7%	26	14.4%
援助者との関係構築	3	2.0%	7	3.4%	1	1.2%	4	2.2%
家事(食事・掃除・金銭管理等)に不安がある	5	3.3%	6	2.9%	4	4.9%	6	3.3%
家族がない	4	2.6%	10	4.9%	3	3.7%	7	3.9%
サポート体制が構築できない	7	4.6%	8	3.9%	1	1.2%	12	6.6%
家族が退院に反対している	10	6.6%	14	6.8%	6	7.3%	9	5.0%
家族以外の者が退院に反対している	2	1.3%	2	1.0%	2	2.4%	2	1.1%
住まいの確保ができない	10	6.6%	18	8.8%	4	4.9%	14	7.7%
受け入れ施設が確保できない	22	14.5%	14	6.8%	5	6.1%	27	14.9%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	2	1.3%	3	1.5%	0	0.0%	1	0.6%
住所地(退院希望地)が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	3	1.7%
その他の退院阻害要因がある	1	0.7%	4	2.0%	1	1.2%	2	1.1%
<b>合計</b>	<b>152</b>	<b>100.0%</b>	<b>205</b>	<b>100.0%</b>	<b>82</b>	<b>100.0%</b>	<b>181</b>	<b>100.0%</b>

軽度群

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	7	6.9%	4	3.1%	2	3.5%	2	1.3%
病識なく服薬中断リスク大	14	13.9%	8	6.3%	3	5.3%	4	2.7%
迷惑行為がある	4	4.0%	5	3.9%	1	1.8%	1	0.7%
反社会的行動が予測される	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
退院意欲が乏しい	5	5.0%	14	11.0%	11	19.3%	22	14.8%
現実認識が乏しい	4	4.0%	15	11.8%	7	12.3%	16	10.7%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	7	6.9%	11	8.7%	2	3.5%	5	3.4%
退院による環境変化への不安	11	10.9%	14	11.0%	13	22.8%	22	14.8%
援助者との関係構築	3	3.0%	6	4.7%	1	1.8%	4	2.7%
家事(食事・掃除・金銭管理等)に不安がある	2	2.0%	3	2.4%	2	3.5%	6	4.0%
家族がない	4	4.0%	3	2.4%	3	5.3%	6	4.0%
サポート体制が構築できない	5	5.0%	8	6.3%	1	1.8%	8	5.4%
家族が退院に反対している	9	8.9%	7	5.5%	1	1.8%	9	6.0%
家族以外の者が退院に反対している	2	2.0%	1	0.8%	1	1.8%	2	1.3%
住まいの確保ができない	8	7.9%	13	10.2%	3	5.3%	12	8.1%
受け入れ施設が確保できない	13	12.9%	9	7.1%	4	7.0%	25	16.8%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	1.0%	3	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
住所地(退院希望地)が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	2	1.3%
その他の退院阻害要因がある	1	1.0%	3	2.4%	1	1.8%	2	1.3%
<b>合計</b>	<b>101</b>	<b>100.0%</b>	<b>127</b>	<b>100.0%</b>	<b>57</b>	<b>100.0%</b>	<b>149</b>	<b>100.0%</b>

最も大きな退院阻害要因として選択された要因について見ると、「1年未満」では「受け入れ施設が確保できない」が20.3%（13人）と最も多く、「1年～5年未満」では「病識なく服薬中断リスク大」が22.1%（17人）、「5年～10年未満」では「退院意欲が乏しい」が33.3%（11人）、「10年以上」では「退院意欲が乏しい」が31.3%（21人）となっている。「退院意欲が乏しい」については、入院期間が1年を超えると増加する傾向が見られ、軽度群についても同様の傾向が見られた。

表V-14 退院阻害要因（第1位として選択された件数）×入院期間（4区分）

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	7	10.9%	5	6.5%	2	6.1%	1	1.5%
病識なく服薬中断リスク大	10	15.6%	17	22.1%	4	12.1%	5	7.5%
迷惑行為がある	4	6.3%	3	3.9%	0	0.0%	0	0.0%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%
退院意欲が乏しい	4	6.3%	15	19.5%	11	33.3%	21	31.3%
現実認識が乏しい	6	9.4%	8	10.4%	3	9.1%	7	10.4%
セルフネグレクトに至る可能性が高い	1	1.6%	3	3.9%	1	3.0%	3	4.5%
退院による環境変化への不安	4	6.3%	8	10.4%	6	18.2%	5	7.5%
援助者との関係構築	1	1.6%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家族がいない	3	4.7%	2	2.6%	0	0.0%	1	1.5%
サポート体制が構築できない	2	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%
家族が退院に反対している	3	4.7%	3	3.9%	2	6.1%	3	4.5%
家族以外の者が退院に反対している	1	1.6%	0	0.0%	2	6.1%	1	1.5%
住まいの確保ができない	3	4.7%	7	9.1%	0	0.0%	8	11.9%
受け入れ施設が確保できない	13	20.3%	3	3.9%	1	3.0%	9	13.4%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	1.6%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援体制がとりにくい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	0	0.0%	1	1.3%	1	3.0%	1	1.5%
合計	64	100.0%	77	100.0%	33	100.0%	67	100.0%

軽度群

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	5	12.5%	4	8.5%	2	8.3%	1	1.8%
	6	15.0%	5	10.6%	2	8.3%	3	5.4%
	2	5.0%	2	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	7.5%	11	23.4%	9	37.5%	18	32.1%
	1	2.5%	5	10.6%	3	12.5%	4	7.1%
	1	2.5%	2	4.3%	1	4.2%	3	5.4%
	2	5.0%	5	10.6%	4	16.7%	4	7.1%
	1	2.5%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	7.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%
	3	7.5%	2	4.3%	0	0.0%	3	5.4%
	1	2.5%	0	0.0%	1	4.2%	1	1.8%
	3	7.5%	7	14.9%	0	0.0%	8	14.3%
	7	17.5%	1	2.1%	1	4.2%	9	16.1%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	1	2.1%	1	4.2%	1	1.8%
合計	40	100.0%	47	100.0%	24	100.0%	56	100.0%

## 2. 退院後に必要なサービス

### ①65歳未満・以上別

退院後に必要なサービスを65歳未満・以上の別でみると、「65歳未満」では「訪問看護」が21.7%（300人）と最も多く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が15.4%（212人）、「精神科デイケア」が12.1%（167人）と続く。「65歳以上」では「特別養護老人ホーム」が14.5%（248人）と最も多く、次いで「老人保健施設」が12.7%（217人）、「サービス付き高齢者向け住宅」が12.4%（212人）と続く。軽度群についても同様の傾向が見られる。

	表V-15 退院後に必要なサービス×65歳未満・以上				軽度群			
	65歳未満		65歳以上		65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	70	5.1%	45	2.6%	21	5.5%	21	4.8%
重度訪問介護	1	0.1%	1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%
短期入所(ショートステイ)	17	1.2%	28	1.6%	3	0.8%	3	0.7%
行動援護	3	0.2%	1	0.1%	1	0.3%	0	0.0%
同行援護	0	0.0%	3	0.2%	0	0.0%	3	0.7%
療養介護	0	0.0%	3	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
生活介護	30	2.2%	9	0.5%	5	1.3%	1	0.2%
共同生活援助(グループホーム)	212	15.4%	74	4.3%	48	12.5%	29	6.6%
施設入所支援(障害)	139	10.1%	162	9.5%	21	5.5%	20	4.6%
特別養護老人ホーム	23	1.7%	248	14.5%	2	0.5%	41	9.4%
養護老人ホーム	25	1.8%	163	9.6%	3	0.8%	44	10.1%
老人保健施設	21	1.5%	217	12.7%	3	0.8%	51	11.7%
サービス付き高齢者向け住宅	28	2.0%	212	12.4%	6	1.6%	68	15.6%
認知症対応型グループホーム	7	0.5%	56	3.3%	1	0.3%	8	1.8%
自立訓練(機能訓練)	8	0.6%	2	0.1%	2	0.5%	1	0.2%
自立訓練(生活訓練)	41	3.0%	12	0.7%	13	3.4%	3	0.7%
宿泊型自立訓練	8	0.6%	1	0.1%	1	0.3%	1	0.2%
就労移行支援	9	0.7%	1	0.1%	5	1.3%	0	0.0%
就労継続支援A型(雇用型)	9	0.7%	0	0.0%	5	1.3%	0	0.0%
就労継続支援B型(非雇用型)	33	2.4%	4	0.2%	17	4.4%	1	0.2%
精神科デイケア	167	12.1%	61	3.6%	49	12.7%	23	5.3%
デイサービス(介護保険)	11	0.8%	82	4.8%	3	0.8%	21	4.8%
その他介護保険のサービス	1	0.1%	12	0.7%	0	0.0%	3	0.7%
地域定着支援	53	3.8%	18	1.1%	13	3.4%	6	1.4%
訪問看護	300	21.7%	183	10.7%	98	25.5%	56	12.8%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	18	1.3%	5	0.3%	7	1.8%	3	0.7%
家族への支援(心理教育等)	39	2.8%	9	0.5%	23	6.0%	4	0.9%
ピアサポート等自助活動	5	0.4%	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	3	0.2%	2	0.1%	2	0.5%	1	0.2%
地域活動支援センター	29	2.1%	3	0.2%	11	2.9%	2	0.5%
余暇活動支援	9	0.7%	9	0.5%	7	1.8%	7	1.6%
その他	62	4.5%	80	4.7%	12	3.1%	15	3.4%
<b>合計</b>	<b>1381</b>	<b>100.0%</b>	<b>1706</b>	<b>100.0%</b>	<b>385</b>	<b>100.0%</b>	<b>437</b>	<b>100.0%</b>

退院後に必要なサービスのうち、最も優先度の高いものを65歳未満・以上の別で見ると、「65歳未満」では「共同生活援助（グループホーム）」が26.1%（166人）と最も多く、次いで「施設入所支援（障害）」が20.6%（131人）、「訪問看護」が15.6%（99人）と続く。「65歳以上」では「特別養護老人ホーム」が21.7%（180人）と最も多く、次いで「施設入所支援（障害）」が15.6%（129人）、「サービス付き高齢者向け住宅」が14.7%（122人）と続く。

軽度群について見ると、「65歳未満」では「訪問看護」が25.3%（44人）と最も多く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が22.4%（39人）、「施設入所支援（障害）」が10.9%と続く。「65歳以上」では「サービス付き高齢者向け住宅」が17.5%（38人）と最も多く、次いで、「特別養護老人ホーム」が16.6%（36人）、「老人保健施設」が13.4%（29人）と続く。

退院後に必要なサービスとしては、帰住先としての居住系サービスが最も望まれていることが分かる。

表V-16 退院後に必要なサービス（第1位として選択された件数）×65歳未満・以上

	65歳未満		65歳以上	
	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	23	3.6%	17	2.1%
重度訪問介護	1	0.2%	1	0.1%
短期入所（ショートステイ）	4	0.6%	6	0.7%
行動援護	1	0.2%	0	0.0%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	4	0.6%	2	0.2%
共同生活援助（グループホーム）	166	26.1%	52	6.3%
施設入所支援（障害）	131	20.6%	129	15.6%
特別養護老人ホーム	18	2.8%	180	21.7%
養護老人ホーム	16	2.5%	65	7.8%
老人保健施設	8	1.3%	108	13.0%
サービス付き高齢者向け住宅	15	2.4%	122	14.7%
認知症対応型グループホーム	2	0.3%	20	2.4%
自立訓練（機能訓練）	1	0.2%	0	0.0%
自立訓練（生活訓練）	15	2.4%	4	0.5%
宿泊型自立訓練	6	0.9%	0	0.0%
就労移行支援	2	0.3%	1	0.1%
就労継続支援A型（雇用型）	4	0.6%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	14	2.2%	1	0.1%
精神科デイケア	43	6.8%	8	1.0%
デイサービス（介護保険）	0	0.0%	8	1.0%
その他介護保険のサービス	0	0.0%	6	0.7%
地域定着支援	13	2.0%	1	0.1%
訪問看護	99	15.6%	40	4.8%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	2	0.3%	1	0.1%
家族への支援（心理教育等）	8	1.3%	4	0.5%
ピアサポート等自助活動	1	0.2%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	1	0.2%	2	0.2%
地域活動支援センター	5	0.8%	0	0.0%
余暇活動支援	0	0.0%	1	0.1%
その他	33	5.2%	50	6.0%
<b>合計</b>	<b>636</b>	<b>100.0%</b>	<b>829</b>	<b>100.0%</b>

軽度群			
65歳未満		65歳以上	
人数	割合	人数	割合
7	4.0%	7	3.2%
1	0.6%	0	0.0%
1	0.6%	2	0.9%
0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%
1	0.6%	1	0.5%
39	22.4%	23	10.6%
19	10.9%	17	7.8%
1	0.6%	36	16.6%
2	1.1%	19	8.8%
2	1.1%	29	13.4%
2	1.1%	38	17.5%
0	0.0%	3	1.4%
1	0.6%	0	0.0%
2	1.1%	0	0.0%
1	0.6%	0	0.0%
1	0.6%	0	0.0%
3	1.7%	0	0.0%
7	4.0%	0	0.0%
14	8.0%	3	1.4%
0	0.0%	4	1.8%
0	0.0%	3	1.4%
7	4.0%	1	0.5%
44	25.3%	16	7.4%
1	0.6%	0	0.0%
5	2.9%	2	0.9%
1	0.6%	0	0.0%
1	0.6%	1	0.5%
2	1.1%	0	0.0%
0	0.0%	1	0.5%
9	5.2%	11	5.1%
<b>174</b>	<b>100.0%</b>	<b>217</b>	<b>100.0%</b>

## ②退院希望の有無別

退院後に必要なサービスを退院希望の有無別に見ると、「希望している」では「訪問看護」が18.1% (215人)と最も多く、次いで「共同生活援助(グループホーム)」が8.8% (105人)、「施設入所支援(障害)」が8.1% (96人)となっている。「希望していない」でも同様の傾向が見られる。

軽度群について見ると、「希望している」では「訪問看護」が22.1% (93人)と最も多く、次いで「精神科デイケア」が10.5% (44人)、「共同生活援助(グループホーム)」が7.6% (32人)と続く。「希望していない」では「サービス付き高齢者向け住宅」が22.0% (38人)と最も多く、次いで「訪問看護」が16.2% (28人)、「老人保健施設」が11.0% (19人)と続く。

表V-17 退院後に必要なサービス×退院の希望

	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	65	5.5%	11	1.7%	39	3.1%
重度訪問介護	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
短期入所(ショートステイ)	25	2.1%	8	1.3%	12	0.9%
行動援護	2	0.2%	0	0.0%	2	0.2%
同行援護	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
生活介護	14	1.2%	9	1.4%	16	1.3%
共同生活援助(グループホーム)	105	8.8%	73	11.5%	108	8.5%
施設入所支援(障害)	96	8.1%	46	7.3%	159	12.6%
特別養護老人ホーム	78	6.6%	37	5.8%	156	12.3%
養護老人ホーム	55	4.6%	52	8.2%	81	6.4%
老人保健施設	57	4.8%	62	9.8%	119	9.4%
サービス付き高齢者向け住宅	82	6.9%	74	11.7%	84	6.6%
認知症対応型グループホーム	21	1.8%	7	1.1%	35	2.8%
自立訓練(機能訓練)	6	0.5%	1	0.2%	3	0.2%
自立訓練(生活訓練)	27	2.3%	9	1.4%	17	1.3%
宿泊型自立訓練	4	0.3%	4	0.6%	1	0.1%
就労移行支援	5	0.4%	3	0.5%	2	0.2%
就労継続支援A型(雇用型)	7	0.6%	2	0.3%	0	0.0%
就労継続支援B型(非雇用型)	23	1.9%	3	0.5%	11	0.9%
精神科デイケア	99	8.3%	62	9.8%	67	5.3%
デイサービス(介護保険)	33	2.8%	13	2.1%	47	3.7%
その他介護保険のサービス	3	0.3%	2	0.3%	8	0.6%
地域定着支援	36	3.0%	10	1.6%	25	2.0%
訪問看護	215	18.1%	104	16.4%	164	13.0%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	14	1.2%	2	0.3%	7	0.6%
家族への支援(心理教育等)	31	2.6%	4	0.6%	13	1.0%
ピアサポート等自助活動	3	0.3%	0	0.0%	2	0.2%
民間賃貸住宅の確保支援	5	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	23	1.9%	5	0.8%	4	0.3%
余暇活動支援	10	0.8%	1	0.2%	7	0.6%
その他	41	3.5%	29	4.6%	72	5.7%
合計	1188	100.0%	634	100.0%	1265	100.0%

軽度群						
	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	30	7.1%	2	1.2%	10	4.4%
	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
	4	1.0%	0	0.0%	2	0.9%
	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
	3	0.7%	1	0.6%	2	0.9%
	32	7.6%	18	10.4%	27	11.8%
	17	4.0%	4	2.3%	20	8.8%
	18	4.3%	4	2.3%	21	9.2%
	16	3.8%	18	10.4%	13	5.7%
	10	2.4%	19	11.0%	25	11.0%
	23	5.5%	38	22.0%	13	5.7%
	5	1.2%	1	0.6%	3	1.3%
	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
	6	1.4%	6	3.5%	4	1.8%
	0	0.0%	2	1.2%	0	0.0%
	5	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
	4	1.0%	1	0.6%	0	0.0%
	14	3.3%	1	0.6%	3	1.3%
	44	10.5%	12	6.9%	16	7.0%
	16	3.8%	3	1.7%	5	2.2%
	0	0.0%	2	1.2%	1	0.4%
	11	2.6%	3	1.7%	5	2.2%
	93	22.1%	28	16.2%	33	14.5%
	9	2.1%	0	0.0%	1	0.4%
	19	4.5%	2	1.2%	6	2.6%
	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
	9	2.1%	1	0.6%	3	1.3%
	9	2.1%	1	0.6%	4	1.8%
	12	2.9%	6	3.5%	9	3.9%
	421	100.0%	173	100.0%	228	100.0%

退院後に必要なサービスのうち、最も優先度の高いものを退院希望の有無別で見ると、「希望している」では「訪問看護」が15.3% (81人)と最も多く、次いで「施設入所支援(障害)」が15.0% (79人)、「共同生活援助(グループホーム)」が14.4% (76人)と続く。「希望していない」では「共同生活援助(グループホーム)」が21.4% (60人)と最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が16.8% (47人)、「施設入所支援(障害)」が13.6% (38人)と続く。

軽度群について見ると、「希望している」では「訪問看護」が21.4% (40人)と最も多く、次いで「共同生活援助(グループホーム)」が11.8% (22人)、「施設入所支援(障害)」「精神科デイケア」がともに7.5% (14人)と続く。「希望していない」では「サービス付き高齢者向け住宅」が28.9% (22人)と最も多く、次いで「共同生活援助(グループホーム)」が19.7% (15人)、「養護老人ホーム」が10.5% (8人)と続く。

表V-18 退院後に必要なサービス(第1位として選択された件数)×退院の希望

	希望している		希望していない		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	22	4.2%	6	2.1%	12	1.8%
重度訪問介護	0	0.0%	1	0.4%	1	0.2%
短期入所(ショートステイ)	6	1.1%	1	0.4%	3	0.5%
行動援護	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	3	0.6%	1	0.4%	2	0.3%
共同生活援助(グループホーム)	76	14.4%	60	21.4%	82	12.5%
施設入所支援(障害)	79	15.0%	38	13.6%	143	21.8%
特別養護老人ホーム	53	10.0%	23	8.2%	122	18.6%
養護老人ホーム	21	4.0%	21	7.5%	39	5.9%
老人保健施設	24	4.5%	23	8.2%	69	10.5%
サービス付き高齢者向け住宅	45	8.5%	47	16.8%	45	6.8%
認知症対応型グループホーム	11	2.1%	1	0.4%	10	1.5%
自立訓練(機能訓練)	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練(生活訓練)	10	1.9%	3	1.1%	6	0.9%
宿泊型自立訓練	2	0.4%	3	1.1%	1	0.2%
就労移行支援	1	0.2%	1	0.4%	1	0.2%
就労継続支援A型(雇用型)	3	0.6%	1	0.4%	0	0.0%
就労継続支援B型(非雇用型)	10	1.9%	1	0.4%	4	0.6%
精神科デイケア	29	5.5%	9	3.2%	13	2.0%
デイサービス(介護保険)	5	0.9%	1	0.4%	2	0.3%
その他介護保険のサービス	1	0.2%	2	0.7%	3	0.5%
地域定着支援	10	1.9%	1	0.4%	3	0.5%
訪問看護	81	15.3%	13	4.6%	45	6.8%
行政による訪問支援(アウトリーチ支援等)	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
家族への支援(心理教育等)	8	1.5%	0	0.0%	4	0.6%
ピアサポート等自助活動	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	4	0.8%	1	0.4%	0	0.0%
余暇活動支援	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
その他	15	2.8%	22	7.9%	46	7.0%
合計	528	100.0%	280	100.0%	657	100.0%

軽度群					
希望している		希望していない		不明	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
11	5.9%	1	1.3%	2	1.6%
0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1	0.5%	0	0.0%	1	0.8%
22	11.8%	15	19.7%	25	19.5%
14	7.5%	4	5.3%	18	14.1%
13	7.0%	4	5.3%	20	15.6%
8	4.3%	8	10.5%	5	3.9%
8	4.3%	6	7.9%	17	13.3%
12	6.4%	22	28.9%	6	4.7%
3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	1	1.3%	1	0.8%
0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
2	1.1%	1	1.3%	0	0.0%
5	2.7%	0	0.0%	2	1.6%
14	7.5%	0	0.0%	3	2.3%
2	1.1%	0	0.0%	2	1.6%
0	0.0%	2	2.6%	1	0.8%
6	3.2%	1	1.3%	1	0.8%
40	21.4%	5	6.6%	15	11.7%
1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
5	2.7%	0	0.0%	2	1.6%
1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
9	4.8%	5	6.6%	6	4.7%
187	100.0%	76	100.0%	128	100.0%

### ③入院期間別

退院後に必要なサービスを入院期間別に見ると、全期間を通して最も選ばれているのは「訪問看護」であった。また、入院期間が長期化するほど「共同生活援助（グループホーム）」や「施設入所支援（障害）」等の居住系サービスが選択される割合が高くなる傾向が見られた。軽度群についても同様の傾向が見られた。

	表V-19 退院後に必要なサービス（単純集計）×入院期間（4区分）								軽度群							
	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上		1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	57	5.7%	33	3.8%	12	2.6%	13	1.7%	26	6.9%	7	4.2%	4	4.5%	5	2.6%
重度訪問介護	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	17	1.7%	12	1.4%	7	1.5%	9	1.2%	4	1.1%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
行動援護	1	0.1%	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
同行援護	1	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	1	0.1%	1	0.1%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	12	1.2%	11	1.3%	6	1.3%	10	1.3%	5	1.3%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	63	6.3%	88	10.2%	56	12.0%	79	10.5%	26	6.9%	21	12.6%	8	9.0%	22	11.6%
施設入所支援（障害）	47	4.7%	85	9.9%	64	13.7%	105	14.0%	10	2.7%	10	6.0%	8	9.0%	13	6.9%
特別養護老人ホーム	80	7.9%	80	9.3%	39	8.3%	72	9.6%	17	4.5%	8	4.8%	4	4.5%	14	7.4%
養護老人ホーム	35	3.5%	53	6.2%	39	8.3%	61	8.1%	10	2.7%	10	6.0%	10	11.2%	17	9.0%
老人保健施設	59	5.9%	83	9.7%	36	7.7%	60	8.0%	13	3.4%	13	7.8%	8	9.0%	20	10.6%
サービス付き高齢者向け住宅	55	5.5%	64	7.5%	42	9.0%	79	10.5%	14	3.7%	19	11.4%	13	14.6%	28	14.8%
認知症対応型グループホーム	30	3.0%	20	2.3%	3	0.6%	10	1.3%	5	1.3%	2	1.2%	1	1.1%	1	0.5%
自立訓練（機能訓練）	5	0.5%	3	0.3%	2	0.4%	0	0.0%	2	0.5%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練（生活訓練）	14	1.4%	19	2.2%	8	1.7%	12	1.6%	4	1.1%	4	2.4%	1	1.1%	7	3.7%
宿泊型自立訓練	1	0.1%	4	0.5%	2	0.4%	2	0.3%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.5%
就労移行支援	9	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	9	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	22	2.2%	9	1.0%	1	0.2%	5	0.7%	15	4.0%	2	1.2%	0	0.0%	1	0.5%
精神科デイケア	92	9.1%	58	6.8%	26	5.6%	52	6.9%	40	10.6%	13	7.8%	7	7.9%	12	6.3%
デイサービス（介護保険）	39	3.9%	26	3.0%	10	2.1%	18	2.4%	14	3.7%	6	3.6%	1	1.1%	3	1.6%
その他介護保険のサービス	8	0.8%	1	0.1%	1	0.2%	3	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.6%
地域定着支援	25	2.5%	30	3.5%	8	1.7%	8	1.1%	7	1.9%	8	4.8%	2	2.2%	2	1.1%
訪問看護	191	18.9%	123	14.3%	64	13.7%	105	14.0%	89	23.6%	26	15.6%	12	13.5%	27	14.3%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	11	1.1%	7	0.8%	3	0.6%	2	0.3%	9	2.4%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
家族への支援（心理教育等）	34	3.4%	4	0.5%	5	1.1%	5	0.7%	24	6.4%	1	0.6%	1	1.1%	1	0.5%
ピアサポート等自助活動	2	0.2%	0	0.0%	2	0.4%	1	0.1%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	2	0.2%	1	0.1%	2	0.4%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.6%	1	1.1%	0	0.0%
地域活動支援センター	17	1.7%	6	0.7%	5	1.1%	4	0.5%	7	1.9%	0	0.0%	3	3.4%	3	1.6%
余暇活動支援	10	1.0%	4	0.5%	1	0.2%	3	0.4%	9	2.4%	3	1.8%	0	0.0%	2	1.1%
その他	57	5.7%	29	3.4%	23	4.9%	33	4.4%	11	2.9%	4	2.4%	5	5.6%	7	3.7%
<b>合計</b>	<b>1008</b>	<b>100.0%</b>	<b>859</b>	<b>100.0%</b>	<b>468</b>	<b>100.0%</b>	<b>752</b>	<b>100.0%</b>	<b>377</b>	<b>100.0%</b>	<b>167</b>	<b>100.0%</b>	<b>89</b>	<b>100.0%</b>	<b>189</b>	<b>100.0%</b>

退院後に必要なサービスのうち、最も優先度の高いものを入院期間別に見ると、「1年未満」では「訪問看護」が18.0%（86人）と最も多くなっているが、「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年以上」では「施設入所支援（障害）」が最も多くなっている。「共同生活援助（グループホーム）」や「サービス付き高齢者向け住宅」等の居住系サービスも「1年～5年未満」を境に割合が高くなる傾向が見られる。軽度群についても同様の傾向が見られた。

表V-20 退院後に必要なサービス（単純集計）×入院期間（4区分）

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	22	4.6%	15	3.8%	2	0.8%	1	0.3%
重度訪問介護	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	4	0.8%	3	0.8%	1	0.4%	2	0.6%
行動援護	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	1	0.2%	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	47	9.8%	67	17.0%	46	19.5%	58	16.2%
施設入所支援（障害）	37	7.7%	75	19.1%	57	24.2%	91	25.5%
特別養護老人ホーム	64	13.4%	54	13.7%	29	12.3%	51	14.3%
養護老人ホーム	12	2.5%	22	5.6%	20	8.5%	27	7.6%
老人保健施設	35	7.3%	40	10.2%	17	7.2%	24	6.7%
サービス付き高齢者向け住宅	24	5.0%	37	9.4%	27	11.4%	49	13.7%
認知症対応型グループホーム	15	3.1%	6	1.5%	0	0.0%	1	0.3%
自立訓練（機能訓練）	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練（生活訓練）	6	1.3%	8	2.0%	4	1.7%	1	0.3%
宿泊型自立訓練	1	0.2%	3	0.8%	1	0.4%	1	0.3%
就労移行支援	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%
就労継続支援A型（雇用型）	4	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	9	1.9%	3	0.8%	1	0.4%	2	0.6%
精神科デイケア	36	7.5%	13	3.3%	1	0.4%	1	0.3%
デイサービス（介護保険）	6	1.3%	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
その他介護保険のサービス	2	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	3	0.8%
地域定着支援	9	1.9%	2	0.5%	2	0.8%	1	0.3%
訪問看護	86	18.0%	21	5.3%	13	5.5%	19	5.3%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
家族への支援（心理教育等）	8	1.7%	2	0.5%	1	0.4%	1	0.3%
ピアサポート等自助活動	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	2	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	1	0.2%	1	0.3%	2	0.8%	1	0.3%
余暇活動支援	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
その他	40	8.4%	10	2.5%	12	5.1%	21	5.9%
<b>合計</b>	<b>479</b>	<b>100.0%</b>	<b>393</b>	<b>100.0%</b>	<b>236</b>	<b>100.0%</b>	<b>357</b>	<b>100.0%</b>

軽度群

	1年未満		1年～5年未満		5年～10年未満		10年以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
	11	6.3%	1	1.3%	2	4.3%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	2	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	21	11.9%	17	21.8%	6	12.8%	18	20.0%
	9	5.1%	9	11.5%	8	17.0%	10	11.1%
	13	7.4%	6	7.7%	4	8.5%	14	15.6%
	4	2.3%	2	2.6%	5	10.6%	10	11.1%
	9	5.1%	9	11.5%	4	8.5%	9	10.0%
	7	4.0%	12	15.4%	7	14.9%	14	15.6%
	2	1.1%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%
	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	3	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	7	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	13	7.4%	4	5.1%	0	0.0%	0	0.0%
	2	1.1%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%
	5	2.8%	0	0.0%	2	4.3%	1	1.1%
	44	25.0%	7	9.0%	3	6.4%	6	6.7%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	6	3.4%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	1	0.6%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%
	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
	9	5.1%	2	2.6%	5	10.6%	4	4.4%
<b>合計</b>	<b>176</b>	<b>100.0%</b>	<b>78</b>	<b>100.0%</b>	<b>47</b>	<b>100.0%</b>	<b>90</b>	<b>100.0%</b>

### 3. 障害保健福祉圏域別

表VI-1 病状×障害保健福祉圏域別

病状	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
寛解	7	1.3%	0	0.0%	2	1.3%	2	1.6%	3	3.3%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
院内寛解	43	8.1%	0	0.0%	4	2.5%	19	14.7%	11	12.1%	10	13.0%	29	21.8%	22	10.9%	1	2.4%	0	0.0%
軽度	75	14.2%	9	7.8%	14	8.8%	30	23.3%	15	16.5%	30	39.0%	24	18.0%	43	21.4%	7	16.7%	1	33.3%
中等度	254	48.0%	54	47.0%	98	61.3%	51	39.5%	38	41.8%	26	33.8%	47	35.3%	93	46.3%	19	45.2%	2	66.7%
重度	131	24.8%	36	31.3%	39	24.4%	26	20.2%	19	20.9%	9	11.7%	24	18.0%	43	21.4%	12	28.6%	0	0.0%
最重度	19	3.6%	16	13.9%	3	1.9%	1	0.8%	5	5.5%	1	1.3%	9	6.8%	0	0.0%	2	4.8%	0	0.0%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-2 入院形態×障害保健福祉圏域別

入院形態	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
任意入院	297	56.1%	60	52.2%	92	57.5%	66	51.2%	32	35.2%	30	39.0%	57	42.9%	124	61.7%	20	47.6%	1	33.3%
医療保護入院	231	43.7%	55	47.8%	68	42.5%	63	48.8%	59	64.8%	47	61.0%	76	57.1%	77	38.3%	22	52.4%	1	33.3%
措置入院	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
緊急措置入院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
応急入院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鑑定入院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
医療観察法による入院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-3 入院期間×障害保健福祉圏域別

入院期間	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3か月未満	117	22.1%	32	27.8%	35	21.9%	29	22.5%	25	27.5%	19	24.7%	44	33.1%	19	9.5%	8	19.0%	1	33.3%
3~6か月未満	31	5.9%	7	6.1%	7	4.4%	9	7.0%	7	7.7%	5	6.5%	3	2.3%	6	3.0%	1	2.4%	0	0.0%
6か月~1年未満	35	6.6%	6	5.2%	7	4.4%	10	7.8%	8	8.8%	5	6.5%	6	4.5%	6	3.0%	5	11.9%	0	0.0%
1年~3年未満	82	15.5%	19	16.5%	21	13.1%	22	17.1%	9	9.9%	6	7.8%	14	10.5%	40	19.9%	5	11.9%	1	33.3%
3年~5年未満	63	11.9%	17	14.8%	25	15.6%	15	11.6%	10	11.0%	8	10.4%	14	10.5%	20	10.0%	2	4.8%	0	0.0%
5年~10年未満	90	17.0%	14	12.2%	28	17.5%	16	12.4%	15	16.5%	12	15.6%	18	13.5%	37	18.4%	7	16.7%	0	0.0%
10年~15年未満	39	7.4%	6	5.2%	16	10.0%	7	5.4%	5	5.5%	6	7.8%	9	6.8%	23	11.4%	2	4.8%	0	0.0%
15年~20年未満	19	3.6%	6	5.2%	5	3.1%	4	3.1%	3	3.3%	4	5.2%	6	4.5%	14	7.0%	3	7.1%	1	33.3%
20年以上	53	10.0%	8	7.0%	16	10.0%	17	13.2%	9	9.9%	12	15.6%	19	14.3%	36	17.9%	9	21.4%	0	0.0%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-4 病名×障害保健福祉圏域別

病名	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
F00アルツハイマー病型認知症	18	3.4%	3	2.6%	8	5.0%	13	10.1%	7	7.7%	8	10.4%	6	4.5%	8	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
F01血管性認知症	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F02-09上記以外の症状性を含む器質性精神障害	33	6.2%	15	13.0%	8	5.0%	5	3.9%	9	9.9%	3	3.9%	5	3.8%	3	1.5%	2	4.8%	0	0.0%
F10アルコール使用による精神及び行動の障害	7	1.3%	2	1.7%	2	1.3%	3	2.3%	2	2.2%	1	1.3%	5	3.8%	1	0.5%	1	2.4%	0	0.0%
覚せい剤による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
アルコール覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害※	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F2統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	390	73.7%	75	65.2%	120	75.0%	91	70.5%	60	65.9%	54	70.1%	99	74.4%	165	82.1%	32	76.2%	2	66.7%
F30-31 躁病エピソード・双極性感情障害【躁うつ病】	21	4.0%	6	5.2%	3	1.9%	5	3.9%	5	5.5%	6	7.8%	5	3.8%	5	2.5%	3	7.1%	0	0.0%
F32-39 その他の気分障害	26	4.9%	6	5.2%	12	7.5%	7	5.4%	3	3.3%	3	3.9%	2	1.5%	2	1.0%	3	7.1%	0	0.0%
F4神経症性障害、ストレス関連障害	18	3.4%	1	0.9%	2	1.3%	1	0.8%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	8	4.0%	1	2.4%	0	0.0%
F5生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
F6成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	0.2%	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
F7精神遅滞(知的障害)	5	0.9%	1	0.9%	1	0.6%	1	0.8%	2	2.2%	1	1.3%	4	3.0%	8	4.0%	0	0.0%	0	0.0%
F8心理的発達障害	2	0.4%	3	2.6%	3	1.9%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%
F9小児期及び青年期に通常発症すてんかん (F0に属さないものを計上する)	4	0.8%	1	0.9%	0	0.0%	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-5 状態像×障害保健福祉圏域別

状態像	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状(主症状)が落ち着き、入院によらない形で治療ができる程度まで回復	72	13.6%	20	17.4%	8	5.0%	39	30.2%	14	15.4%	35	45.5%	26	19.5%	27	13.4%	8	19.0%	1	33.3%
病状(主症状)が不安定で入院による治療が必要	417	78.8%	89	77.4%	146	91.3%	75	58.1%	63	69.2%	29	37.7%	44	33.1%	164	81.6%	30	71.4%	0	0.0%
退院予定	40	7.6%	6	5.2%	6	3.8%	15	11.6%	14	15.4%	13	16.9%	63	47.4%	10	5.0%	4	9.5%	2	66.7%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-6 退院希望の有無×障害保健福祉圏域別

退院希望の有無	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
希望している	211	39.9%	33	28.7%	57	35.6%	53	41.1%	37	40.7%	45	58.4%	46	34.6%	38	18.9%	16	38.1%	3	100.0%
希望していない	93	17.6%	41	35.7%	19	11.9%	28	21.7%	14	15.4%	8	10.4%	16	12.0%	55	27.4%	6	14.3%	0	0.0%
不明	225	42.5%	41	35.7%	84	52.5%	48	37.2%	40	44.0%	24	31.2%	71	53.4%	108	53.7%	20	47.6%	0	0.0%
合計	529	100.0%	115	100.0%	160	100.0%	129	100.0%	91	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	201	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

表VI-7 退院阻害要因の有無×障害保健福祉圏域別

退院阻害要因の有無	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
退院阻害要因がある	69	95.8%	20	100.0%	8	100.0%	39	100.0%	14	100.0%	35	100.0%	25	96.2%	23	85.2%	7	87.5%	1	100.0%
退院阻害要因はない	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	4	14.8%	1	12.5%	0	0.0%
合計	72	100.0%	20	100.0%	8	100.0%	39	100.0%	14	100.0%	35	100.0%	26	100.0%	27	100.0%	8	100.0%	1	100.0%

表VI-8 退院阻害要因(単純集計)×障害保健福祉圏域別

退院阻害要因	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	9	4.8%	2	3.6%	1	4.8%	3	2.7%	2	5.9%	4	5.2%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
病識な服薬中断リスク大	19	10.1%	12	21.4%	5	23.8%	11	9.9%	0	0.0%	4	5.2%	3	4.4%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%
迷惑行為がある	10	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
反社会的行動が予測される	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	24	12.8%	7	12.5%	4	19.0%	7	6.3%	6	17.6%	4	5.2%	6	8.8%	11	22.9%	1	6.7%	0	0.0%
現実認識が乏しい	25	13.3%	9	16.1%	2	9.5%	17	15.3%	2	5.9%	10	13.0%	5	7.4%	5	10.4%	3	20.0%	1	50.0%
セルフマネジメントに至る可能性が高い	13	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	16	14.4%	1	2.9%	0	0.0%	1	1.5%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
退院による環境変化への不安	22	11.7%	5	8.9%	2	9.5%	19	17.1%	8	23.5%	8	10.4%	8	11.8%	4	8.3%	1	6.7%	0	0.0%
援助者との関係構築	3	1.6%	1	1.8%	2	9.5%	6	5.4%	1	2.9%	1	1.3%	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家事(食事・掃除・金銭管理等)に不安がある	10	5.3%	3	5.4%	0	0.0%	1	0.9%	2	5.9%	0	0.0%	4	5.9%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%
家族がいない	8	4.3%	4	7.1%	0	0.0%	7	6.3%	2	5.9%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	1	6.7%	1	50.0%
サポート体制が構築できない	8	4.3%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.9%	0	0.0%	1	1.3%	13	19.1%	4	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
家族が退院に反対している	9	4.8%	6	10.7%	1	4.8%	8	7.2%	2	5.9%	3	3.9%	2	2.9%	6	12.5%	2	13.3%	0	0.0%
家族以外の者が退院に反対している	3	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	5.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%
住まいの確保ができない	9	4.8%	2	3.6%	1	4.8%	0	0.0%	2	5.9%	14	18.2%	9	13.2%	8	16.7%	1	6.7%	0	0.0%
受け入れ施設が確保できない	11	5.9%	5	8.9%	0	0.0%	11	9.9%	4	11.8%	23	29.9%	9	13.2%	2	4.2%	3	20.0%	0	0.0%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	1	0.5%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	2	5.9%	1	1.3%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
住所地(退院希望地)が遠く支援	1	0.5%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.9%	4	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	188	100.0%	56	100.0%	21	100.0%	111	100.0%	34	100.0%	77	100.0%	68	100.0%	48	100.0%	15	100.0%	2	100.0%

表VI-9 退院阻害要因（第1位として選択された件数）×障害保健福祉圏域別

退院阻害要因	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病状が改善しない	7	10.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	5.1%	2	14.3%	3	8.6%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
病識なく服薬中断リスク大	12	17.4%	10	50.0%	4	50.0%	6	15.4%	0	0.0%	1	2.9%	2	8.0%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%
迷惑行為がある	5	7.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
反社会的行動が予測される	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院意欲が乏しい	18	26.1%	4	20.0%	3	37.5%	4	10.3%	4	28.6%	2	5.7%	5	20.0%	11	47.8%	0	0.0%	0	0.0%
現実認識が乏しい	10	14.5%	1	5.0%	0	0.0%	7	17.9%	1	7.1%	2	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	1	100.0%
セルフマネジメントに至る可能性が高い	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	6	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院による環境変化への不安	3	4.3%	4	20.0%	1	12.5%	7	17.9%	1	7.1%	1	2.9%	3	12.0%	2	8.7%	1	14.3%	0	0.0%
援助者との関係構築	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家事（食事・掃除・金銭管理等）に不安がある	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家族がいない	3	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	7.1%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
サポート体制が構築できない	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
家族が退院に反対している	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	2	5.7%	1	4.0%	4	17.4%	1	14.3%	0	0.0%
家族以外の者が退院に反対している	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	8.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
住まいの確保ができない	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	14.3%	7	28.0%	3	13.0%	1	14.3%	0	0.0%
受け入れ施設が確保できない	1	1.4%	1	5.0%	0	0.0%	3	7.7%	3	21.4%	14	40.0%	2	8.0%	1	4.3%	1	14.3%	0	0.0%
救急診療体制がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
退院サポート人材の不足	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
住所地（退院希望地）が遠く支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の退院阻害要因がある	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	69	100.0%	20	100.0%	8	100.0%	39	100.0%	14	100.0%	35	100.0%	25	100.0%	23	100.0%	7	100.0%	1	100.0%

表VI-10 退院後に必要なサービス（単純集計）×障害保健福祉圏域別

退院後に必要なサービス	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	31	2.7%	6	2.5%	2	0.6%	3	1.0%	11	5.5%	6	4.0%	37	11.5%	17	5.5%	2	2.5%	0	0.0%
重度訪問介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	15	1.3%	1	0.4%	9	2.8%	8	2.8%	4	2.0%	2	1.3%	4	1.2%	1	0.3%	1	1.3%	0	0.0%
行動援護	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
同行援護	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	1	0.4%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	14	1.2%	0	0.0%	6	1.9%	9	3.1%	2	1.0%	2	1.3%	2	0.6%	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	105	9.0%	23	9.4%	19	5.9%	26	9.0%	21	10.6%	18	12.0%	17	5.3%	45	14.6%	9	11.4%	3	42.9%
施設入所支援（障害）	105	9.0%	23	9.4%	63	19.7%	12	4.1%	15	7.5%	14	9.3%	24	7.4%	38	12.3%	6	7.6%	1	14.3%
特別養護老人ホーム	93	8.0%	30	12.3%	37	11.6%	35	12.1%	12	6.0%	26	17.3%	13	4.0%	15	4.9%	10	12.7%	0	0.0%
養護老人ホーム	68	5.8%	21	8.6%	20	6.3%	20	6.9%	18	9.0%	7	4.7%	2	0.6%	24	7.8%	8	10.1%	0	0.0%
老人保健施設	98	8.4%	33	13.5%	36	11.3%	13	4.5%	13	6.5%	7	4.7%	9	2.8%	22	7.1%	7	8.9%	0	0.0%
サービス付き高齢者向け住宅	129	11.1%	9	3.7%	12	3.8%	39	13.4%	14	7.0%	20	13.3%	5	1.5%	7	2.3%	5	6.3%	0	0.0%
認知症対応型グループホーム	25	2.1%	8	3.3%	3	0.9%	12	4.1%	2	1.0%	3	2.0%	6	1.9%	3	1.0%	1	1.3%	0	0.0%
自立訓練（機能訓練）	3	0.3%	0	0.0%	5	1.6%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練（生活訓練）	27	2.3%	0	0.0%	15	4.7%	3	1.0%	3	1.5%	2	1.3%	3	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宿泊型自立訓練	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労移行支援	5	0.4%	1	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	2	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	3	0.3%	1	0.4%	2	0.6%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	8	0.7%	2	0.8%	0	0.0%	2	0.7%	3	1.5%	1	0.7%	12	3.7%	7	2.3%	1	1.3%	1	14.3%
精神科ケア	74	6.3%	27	11.1%	12	3.8%	22	7.6%	10	5.0%	7	4.7%	52	16.1%	16	5.2%	8	10.1%	0	0.0%
デイサービス（介護保険）	48	4.1%	4	1.6%	4	1.3%	10	3.4%	6	3.0%	2	1.3%	16	5.0%	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%
その他介護保険のサービス	2	0.2%	1	0.4%	2	0.6%	0	0.0%	5	2.5%	0	0.0%	1	0.3%	1	0.3%	1	1.3%	0	0.0%
地域定着支援	19	1.6%	0	0.0%	4	1.3%	3	1.0%	3	1.5%	10	6.7%	13	4.0%	19	6.1%	0	0.0%	0	0.0%
訪問看護	193	16.6%	40	16.4%	26	8.1%	42	14.5%	37	18.6%	17	11.3%	75	23.2%	40	12.9%	12	15.2%	1	14.3%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	8	0.7%	0	0.0%	2	0.6%	5	1.7%	1	0.5%	0	0.0%	3	0.9%	3	1.0%	1	1.3%	0	0.0%
家族への支援（心理教育等）	21	1.8%	2	0.8%	4	1.3%	5	1.7%	2	1.0%	2	1.3%	8	2.5%	2	0.6%	2	2.5%	0	0.0%
ピアサポート等自助活動	1	0.1%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	3	0.3%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	12	1.0%	1	0.4%	4	1.3%	1	0.3%	3	1.5%	3	2.0%	3	0.9%	5	1.6%	0	0.0%	0	0.0%
余暇活動支援	6	0.5%	1	0.4%	0	0.0%	5	1.7%	1	0.5%	0	0.0%	3	0.9%	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
その他	40	3.4%	9	3.7%	30	9.4%	8	2.8%	7	3.5%	1	0.7%	8	2.5%	36	11.7%	2	2.5%	1	14.3%
合計	1166	100.0%	244	100.0%	320	100.0%	290	100.0%	199	100.0%	150	100.0%	323	100.0%	309	100.0%	79	100.0%	7	100.0%

表VI-11 退院後に必要なサービス（第1位として選択された件数）×障害保健福祉圏域別

退院後に必要なサービス	和歌山市		伊都		那賀		海草		有田		日高		西牟婁		東牟婁		県外		不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護（ホームヘルプ）	8	1.5%	3	2.6%	0	0.0%	1	0.8%	3	3.3%	2	2.6%	12	9.0%	10	5.0%	1	2.4%	0	0.0%
重度訪問介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
短期入所（ショートステイ）	3	0.6%	0	0.0%	2	1.3%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%
行動援護	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
同行援護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
療養介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
生活介護	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
共同生活援助（グループホーム）	80	15.2%	21	18.3%	13	8.2%	17	14.2%	17	18.9%	12	15.6%	15	11.3%	34	17.0%	7	16.7%	2	66.7%
施設入所支援（障害）	93	17.6%	18	15.7%	51	32.3%	9	7.5%	13	14.4%	11	14.3%	22	16.5%	36	18.0%	6	14.3%	1	33.3%
特別養護老人ホーム	72	13.7%	21	18.3%	19	12.0%	26	21.7%	9	10.0%	20	26.0%	11	8.3%	14	7.0%	6	14.3%	0	0.0%
養護老人ホーム	17	3.2%	13	11.3%	6	3.8%	8	6.7%	5	5.6%	3	3.9%	1	0.8%	23	11.5%	5	11.9%	0	0.0%
老人保健施設	49	9.3%	12	10.4%	20	12.7%	2	1.7%	5	5.6%	3	3.9%	6	4.5%	15	7.5%	4	9.5%	0	0.0%
サービス付き高齢者向け住宅	76	14.4%	2	1.7%	6	3.8%	23	19.2%	11	12.2%	10	13.0%	3	2.3%	2	1.0%	4	9.5%	0	0.0%
認知症対応型グループホーム	7	1.3%	5	4.3%	1	0.6%	5	4.2%	1	1.1%	1	1.3%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練（機能訓練）	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
自立訓練（生活訓練）	8	1.5%	0	0.0%	9	5.7%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宿泊型自立訓練	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労移行支援	1	0.2%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援A型（雇用型）	1	0.2%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就労継続支援B型（非雇用型）	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	9	6.8%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
精神科ケア	15	2.8%	7	6.1%	5	3.2%	2	1.7%	1	1.1%	1	1.3%	11	8.3%	7	3.5%	2	4.8%	0	0.0%
デイサービス（介護保険）	2	0.4%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他介護保険のサービス	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	2	2.2%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%	1	2.4%	0	0.0%
地域定着支援	3	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	6	7.8%	0	0.0%	4	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
訪問看護	56	10.6%	7	6.1%	6	3.8%	10	8.3%	14	15.6%	6	7.8%	26	19.5%	11	5.5%	3	7.1%	0	0.0%
行政による訪問支援（アウトリーチ支援等）	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
家族への支援（心理教育等）	5	0.9%	0	0.0%	2	1.3%	1	0.8%	0	0.0%	2	2.6%	1	0.8%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
ピアサポート等自助活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
民間賃貸住宅の確保支援	1	0.2%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
地域活動支援センター	3	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
余暇活動支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
その他	19	3.6%	4	3.5%	13	8.2%	2	1.7%	1	1.1%	0	0.0%	7	5.3%	35	17.5%	2	4.8%	0	0.0%
合計	527	100.0%	115	100.0%	158	100.0%	120	100.0%	90	100.0%	77	100.0%	133	100.0%	200	100.0%	42	100.0%	3	100.0%

## 第6章 まとめ

- 入院患者の状況
  - 入院患者の年代別人数（4頁、表Ⅱ-1）を見ると、「65歳以上」が56.7%（839人）と半数以上を占め、入院患者の高齢化が進行している。しかし、主診断名（5頁、表Ⅱ-3）を見ると、F00 アルツハイマー病型認知症や F01 血管型認知症等の認知症性疾患は全体の5.0%に過ぎず、「65歳以上」の入院患者の大半を、他の疾患で1年以上入院している長期入院患者が占めていると考えられる。
  - 入院期間（6頁、表Ⅱ-4）を見ると、入院期間が1年以上に及ぶ「長期入院患者」は全体の66.7%（987人）に上り、その内、「65歳以上」が占める割合は61.0%（602人）となった。
  - 入院期間が1年以上の入院患者の状況について、病状（15頁、表Ⅲ-5）を見ると、「軽度群」は21.9%（216人）となっている。さらに、退院希望（入院期間1年以上）（16頁、表Ⅲ-6）を見ると、軽度群の内25.9%（56人）が退院を希望している。
- 退院阻害要因
  - 退院阻害要因（8頁、表Ⅱ-9）を見ると、「現実認識が乏しい」や「退院による環境変化への不安」、「退院意欲が乏しい」の割合が高い。中でも「退院意欲が乏しい」は、最も大きな退院阻害要因として選択された件数が第1位（21.2%、51人）であった。入院期間1年以上の入院患者についても同様の傾向が見られる。これらは、新型コロナウイルス感染症の流行以降、感染予防対策を目的とし、病院外への往来や、人的交流を制限せざるを得ない状況が続いたことが影響している可能性も考えられる。
  - 65歳以上の患者における退院阻害要因（26頁、表Ⅳ-9）を見ると、「受け入れ施設が確保できない」が14.6%（57人）と最も高く、軽度群内でも第1位（14.7%、43人）であった。また、「住まいの確保ができない」も8.4%（33人）であり、退院後の居住先の確保が課題となっている。
- 退院後に必要なサービス
  - 退院後に必要なサービス（10頁、表Ⅱ-11）を見ると、「訪問看護」が15.6%（483人）と最も多く、その他は「共同生活援助（グループホーム）」や「施設入所支援（障害）」、「特別養護老人ホーム」等の居住系サービスが多く選択されていた。しかし、それらを選択順位別（11頁、表Ⅱ-12）を見ると、「共同生活援助（グループホーム）」「施設入所支援（障害）」「特別養護老人ホーム」が第1位として選択される割合が高くなっている。このことから、退院後に最も重要なサービスとしては居住系サービスが重要視されているが、病状管理等の医療的ケアの観点から、「訪問看護」は多くの患者にとって必要とされていると考えられる。
- 今後必要と考えられること
  - 65歳以上の長期入院患者数が多く、その中には退院支援が可能な患者も一定数認められることから、障害福祉分野と介護保険分野のさらなる協働が必要と考えられる。65歳以上の長期入院患者においても、主診断名は F00 アルツハイマー型認知症や F01 血管型認知症以外が占めていることから、精神疾患の理解と対応を広く啓発していく必要がある。
  - 退院阻害要因として、「退院意欲が乏しい」や「現実認識が乏しい」が多くを占めていることから、地域援助事業者やピアサポーターとの交流をさらに促進させていくことが必要と考えられる。特にピアサポーターについては、長期入院精神障害者の地域移行支援においてその有用性が認められていることから、今後も積極的な養成や活用が必要である。
  - 退院阻害要因、退院後に必要なサービスともに居住系サービスが重要視されていることから、各圏域の協議の場において充足数等の協議・検討が必要と考えられる。特に共同生活援助（グループホーム）については、障害者支援施設からの退所希望者だけではなく、精神科病院から退院を希望する患者のニーズを加え、充足数を協

議・検討していくことが重要となる。また、居住系サービス以外の住まいの確保や、退院後の地域生活の定着も重要となることから、居住支援法人との連携についても重要と考えられる。